

なぜ外国語を習うのか。

廉美仙

1. 動機
2. ディスカッション
 - 勉強している外国語がありますか？
 - 始めた時期と動機。そして目的。
 - 特に英語の人気が高い理由について
 - 外国語を習うことの意味は？ 自分にとって外国語の意味は。
3. 結論
4. 終わりに

動機

早稲田別科の皆がそうですが、私は今日本語を勉強している。初めから2年半ぐらい、外国語とは、勉強すればするほど大変だと思う。

日本語に初めて興味を持つようになったきっかけは、中学校の時、流行のように出版された日本漫画だった。ただの興味だけではなかった。進学準備をする時、外国語高校に入ろうと思っていた。科学高校、外国語高校が受験生に人気が高くて、つまらない科目より、興味があるものを勉強したかったからだ。落ちてしまったが。

一般高校に進学して、大学2年生まで、日本語とはあまり関係がない生活を続けていた。

大学を卒業した後はどうすればいいのか、と考えて、前から好きだった外国語、特に日本語をしてみようと決心した。結局、3年生の時休学して本格的に学び始めた。そして韓国で1年勉強して、早稲田に来たのだ。

これを見ると、すごく簡単に見えるが、その過程があまり簡単だったとか、優しかったとかには言えない。今からも真剣に考えて行かなければならない。韓国に帰った後には、就職活動もしなくては行けない。そのために留学までしたのだ。単純な趣味だったら、韓国でも思いっきり習える。私が好きなことを一人の社会人として、楽しながら一人前ができれば、それほどいいことはないと思う。

私は好きなこと、そして就職のために日本語を習っているが、早稲田に来た他の人達は何をために日本語を習っているのか。日本語だけでなく、英語を初めて色々な外国語を習う方が多いと知っている。興味と必要、この二つは離れているのか、合わせるのか。アジアでの英語ブーム、趣味、興味、他の多様な目的で外国語を勉強することについて、他の方達と話したい。

ディスカッション

=木下ユヤ（以下 木）早稲田大学法律部 3 学生=

自分の動機、目的

廉：今、木下さんは外国語を習っていますか。

木：はい、習っています。

廉：何を習っていますか？

木：え、英語と韓国語です。

廉：他の外国語はありませんか。

木：以前、少し習っていました。フランス語とロシア語です。

廉：いつ？

木：2年生の夏休みに。2週間の夏休みの講座。

廉：すごいね。。じゃ、英語と韓国語を習ってみよう、と思った動機は何でしょうか。

木：英語は、留学したいと思ったから。それまでは、えいごを少し勉強することはあったけど、本気では勉強していなかったから。やっぱり留学することにきめてから、本気で始めた。

廉：普通の学生はあまり本気ではないと思うんですね。

木：うん。やっぱりそうだと思う。先生とか学校から押し付けられたとかもあるんだろうし、それいじょうに、利益がないっていうか、特に具体的に英語を重いことに使うとかの目標がないから、本気になれないんだと思う。やる気になれないと。

廉：そうよね。なれないよね。

木：やっぱり心の中で、英語が出来たらいいな、とは思っていたけれども、本気にはなれなかった。

廉：私もそう思う。中学校の時からずっと英語を習ったけど、あんまりしなくなかったし、英語のなにが面白いのか、全然理解できなかった。日本語は、アニメとか日本漫画とかが好きだったから、いいな、と思ったんだけど、英語はやっぱりそんなのがないから、たしかにしたくない、というか。で、初めて習ったのはいつ？

木：小学校6年生の時。塾で。学校で習うのはみんなが中学校の時だけど、小学校の頃から始めといたほうが中学校のはいったからうまくできるな、と思って。自分でもそう思ったし、親もそう思っていたんだ。でも、けっこうみんなやってると思う。

廉：この頃はけっこうそうですよね。早ければ幼稚園でも。韓国語はいつから？

木：2年生の終わり。春休みの時から。だけど、その前から、一度韓国に旅行に行ったことがあるから、その直前にすこしハングルの勉強はしていた。

廉：そう。。英語を習う具体的な目的は？

木：一番の目的は、やはり留学に行きたいと思ったことで、その他は、英語が出来ればもっと沢山のひとと話が出来るといいうのが大きい目的。英語が出来れば地球の何億人のひと

話ができるから、それがすごくいいな、と思ったんだ。字幕なくても映画が見られるし。

廉：自分自身の力で出来るが一番いいんじゃないかな。

木：そう。たしかに。もし自分が勉強しなくても、お金持ちなら通訳士を宿って外国の人と話せるけど、それじゃやっぱりつまらないし、十分にコミュニケーションができない。だからじぶんが話したいな、と思う。これはちょっと汚い目的かな。自分の能力というか、それを人に認められたいな、という気分もあるから。

廉：それは、だれでも。自分がえらい人になる気分になるから。誰でも同じですよ。

木：やっぱり人から凄いとされたいから。それと自由に話してできるからカッコいいさ、と思っている。それで、日本の視覚と、米国の視覚でみる見方が違うと思う。だから、国際の政治を見ても、日本の本だけではたりないから、やはり英語勉強したいな、と思う。

廉：うん。そう。色んな本、インターネットも殆ど英語だし。韓国語の目的は？

木：地理的に近くて、色々使う機会が多いと思うし、利用が出来ると思ったから。それから、個人的に韓国の文化とかに興味があった。時間があれば、だけど。後でももっと勉強したい。

英語のブーム

廉：うん。。全世界的なことですが、英語のブームについてはどう思いますか。

木：やっぱりそれは、英語が自分で生きていく上で、必要だからと思う。

廉：どんな必要なんだろう。

木：日本の場合は、会社で英語を使うようになっているから。英語を取らなければいけない。仕事で英語が必要ない会社でも、会社の入社試験のときには必要になるから。

廉：特に米国の英語が人気なあるのはなぜでしょ。

木：それは、米国の影響力が、政治でも経済でも、強いからだと思う。

廉：やはりそうですね。私は、イギリス式の英語がかっこよくていいな、と思うけど、それは現代的な問題とはあまり関係ない。

木：それは、まあ。世界中に共通語を決めなければならないといったら、やっぱりどこかの一つの言葉になるわけだから、イギリスより米国の英語が色々いいじゃないかな。

木下さんは、将来のための英語、自分の趣味での韓国語の勉強をしていた。彼は汚い目的、と言ったが、人に認められたいな、と思うのこそ最も正直な理由ではないか。

=アイリーン（以下 あ） 早稲田別科の留学生。ホンコン出身=

自分の動機、目的

廉：貴方が習っている外国語は？

あ：日本語だけ。大学の1年生の時、日本語を教養のクラスで習って始めた。少しだけだ

った。

廉：その動機は？

あ：趣味。J-pops が大好きだったから。ずっと日本語に興味を持っていました。

廉：そうですね。じゃ、いまの目的は？

あ：最初は単純に自分の興味なので、勉強したい、と思った。でも今は、来年香港に帰るから、やっぱり日本の会社で働きたいです。就職のために。私の専攻がマーケティングだから、香港にある日本の会社でしたいな、と思っている。

廉：嬉しい。私と殆ど同じ目的だね。

英語のブーム

あ：うん。英語はどこでも大事なものが、私はあまり好きではない。私にとって、英語は子供の時から使っていて、あまり特別の意味はない。あまり趣味もないし。ただ必要だから。

廉：日本と韓国だけでなく、子供の時から英語を習うのはなぜだと思いますか。

あ：たぶん、最近日本も韓国も、ビジネス的に世界的に伸びているから。英語が出来るスタッフがほしいこともそうだから、当然です。どこでも必要、英語は。

廉：アイリーンさんが出来る言語は？

あ：カントン語、日本語、英語。ペッキン語も習いたいが、難しい。後でも習いたいの、韓国語、ペッキン語。

自分にとって外国語の意味は？

あ：私は日本語が好きだから今の勉強はとても楽しい。日本人とのコミュニケーションと、自分の趣味のために。一番目は趣味、二番目は就職。でも、たぶん、就職の意味がなかったら、今のように勉強しなかった。何かを習うのは、やはり興味、好奇心、知りたい、の思いが最初ではないかな。でも、勉強になると、就職のため、仕事と混ぜてしまうから、楽しくならなくなる。やはり大事ななは、趣味だと思う。

アイリーンさんは、趣味から始まったことが就職のためのもの変わったようだ。何をしても、面白くなければ、長い時間続けられない。私は、何よりも英語が自然に喋れることがうらやましかった。どう言っても、やはり英語は勉強して置いた方がいいのだ。きつと。

=松住紘樹（以下 松）早稲田大学社会科学部3年生=

自分の動機、目的

松：韓国語。英語は、たまに読むことぐらい。

廉：韓国語の勉強はいつから？

松：今年6月の末。たぶん。

廉：習おう、と思った理由は？

松：動機は、明らかに韓国の留学生に出会ったから。留学生が、日本語とか、日本の文化とかそういうのを勉強するのを手伝っている中で、色んな発見があったというか。韓国人といろいろな付き合いの中で、韓国に興味を持ち始めて。最初は、人間関係の作り方とか、けっこう小さいところからカルチャーショックがきた。たとえば、けっこう個人的な日本人と全然違う韓国人にびっくりしたと言うか。何でも一緒だから、それがいいな、と思って、すごく魅力的な感じで。それで、勉強したいな、と思った。

廉：で、今できる外国語は？英語は、中学校から学んだだけ？

松：ハングルは、読むこと、書くことができる。英語は、僕の場合、子供の時イギリスで7年間住んだことがあるから、耳とか、発音する時の舌とかは慣れているか。日本に戻って、忘れないように塾とか通ったんだけど、やっぱり日本語ばかりだから急速に衰えた。言葉とかは覚えるけど、全然使う機会がなくて。

廉：でも、普通の学生よりもメリットがあるでしょ。

松：メリットというか、他の学生より有利というか。

英語のブーム

廉：極端的な例で、韓国では子供の舌を切る手術があるよ。英語の発音が上手になるように。知ってる？

松：それは、科学的に、舌の長さの問題じゃなくて、使い方に従って違うんじゃないかな。そんな手術はやはりおかしいなと思うけど。

廉：米国の英語がもっと広がっているのは？

松：アメリカの文化とか、影響力の影響じゃない？使う機会もアメリカ英語の方が多いし。舌の手術も、将来的に、親が子供のために、英語をすっかりマスターした方がいいと思ったからじゃないか。

松住さんもまた、先の相手とあまり違わない観点を見せた。当然かもしれない。ここから、話が発展し始まった。

松：ちょっと違う話だけど、外国語を使う機会が無かったら学んでもしょうがない。廉さんも、日本語を学ぶとき、話したくなかった？何のために勉強する？

廉：そうだったか。私はやはり就職かな。もちろん興味がなければ何倍も難しく、やる気がないかも知れないが、趣味より現実的な目的がもっと大きい。だから英語もしなければならぬし。

松：だったら、やる気がないじゃないか。ビジネス上だけだったらつまらない。興味がな

いと。やっぱり、言葉ってそういうものじゃないか。キャッチボールみたいに。始めて外国語を勉強したとき、最初は簡単な言葉をおぼえるんじゃない？それを使いたくて使いたくて仕方ないじゃん。うずうずして、使ってみるわけ。それってさ、帰ってくる。そのときの感動というか。知りでしょ。

廉：ああ、分かるわかる。

松：しかも、いろいろ身につけて、それを書きたい、とか。でも、それは人と人の関係では当たり前のことじゃないかな。もっともっと相手のことを理解するため。当時に、外国語を学びながら自分の国はどうだったな、自分自身について考える。

廉：韓国語の勉強楽しい？

松：楽しくて楽しくてしょうがない。本当。最近、自分があまりにも韓国について知らなかったと思って、歴史の本とか読んでいます。

自分にとって外国語の意味は？

松：相手を迎えし、自分を見ることかな。付き合う留学生のべんきょうを伝えながら、僕も知らなかった日本のことを知るようになったんだ。

松住さんは、誰よりも楽しそうに見えた。自分自身を見て新しいものを知るようになるのは、ただの勉強ではもらえないものだと思う。

結論

3人の相手と色々話し合う中で、自分自身も知らなかったこと、今からするべきこと、反省などを感じた。

みんなが自分なりの理由、目的を持って習って行く。それが英語でも、韓国語でも、日本語でも。留学のため、就職のため、自分の趣味のため。しかし、その初め、スタートは皆が同じだったはずだ。外国語、ただ外国語だけでなく、何かを習うことの最初はそれについての興味、好奇心、面白さなのだ。

もちろん、私は将来のためにも外国語を勉強しなければならない。英語、日本語を武器に持って、韓国で就職活動を始めるつもりだ。しかし、その以前の前提、それは自分自身のアウことが分かって、それをためにきちんと一生懸命にしないといけない。

私は就職という前提に隠されて始めた時の思い、楽しみを忘れていたかもしれないのだ。ひらがなを見て、覚えた時は、私が好きなものについてもっと知りたい、それが一番大きかった。今は、現実的な必要を追いかけ、単純な面白さを忘れていく気がする。

私にとって日本語、外国語はもっと多様なことを知るための、未来への手段、そしてそのものでの楽しみなのだ。

終わりに

二回目の総合授業は、色々な事情で大変でした。「本当に出来るのか」と思ったのですが、
×切に間に合うようになってやっと安心しています。

何ヶ月にわたって一緒に勉強して話し合った青空の方々、ディスカッションのために自分の時間を貸してくれた相手の方々に感謝しています。色々、ありがとうございました。

ケーキ、コーヒーと私

総合 レポート

名前：チン ホー ヤン アイリーン

グループ：青空

目次

1. 動機	1
2. ディスカッション	3
2.1 ケーキとコーヒーはグッドコンビネーションについて共感がありませんか?	3
2.2 挫折があれば、どうやって解決しますか? 挫折についてどう思いますか?	5
2.3 あなたはどんな人生は素晴らしいと思いますか?	7
3. 結論	8
4. 終わりに	9

1. 動機

私にとってケーキが一番好きなデザートで、コーヒーがお気に入りの飲み物である。そして、今の私にはケーキとコーヒーは日常生活に欠かせないものになっている。

私が子供の頃のイメージは、どんなケーキも甘すぎて、どんなコーヒーも濃すぎて苦いものだった。だから私はあまりケーキとコーヒーが好きではなかった。けれども、オーストラリアの大学で勉強している時に、段々とケーキとコーヒーが好きになり始めた。オーストラリアの喫茶店には、とても綺麗でおいしそうなお菓子がたくさんあって、私は最後には魅力的なケーキに負けて、結局どんなケーキでも好きになった。そのため、私は喫茶店の常連になってしまった。ケーキを食べる時、私は飲み物が欠かせないと思っていたが、いつも行く喫茶店の紅茶があまり気に入らなかったため、コーヒーが好きではなかったが、私はそのコーヒーを飲むようになった。これが私とケーキとコーヒーの出会いで、私はこのコンビネーションが大好きになった。一生ケーキだけを食べてコーヒーと一緒に飲まなかったら、ケーキの独特の甘い味を感じられないと思う。また逆にコーヒーを飲む時にケーキが無かったら、コーヒーもあまりおいしくないになってしまう。

しかし、私にとってケーキとコーヒーが好きになったことは、表面的な食べ物の好き / 嫌いが変わっただけではなく、それが私の人生観の変化に深い関係があると思う。

子供の頃、私は両親や親戚からの愛情を受けて、いつも彼らから良い意見を聞き、指示に従って行動していた。実はこのことは、私にとって自分自身の色々な選択や考え方があまり自由ではなかったことを意味している。例えば、子供の頃のピアノを学んでいたこと、

学生時代の夏休みのスケジュールなど、色々なことを両親から意見された。私は両親のおかげで高校を卒業するまで平穩無事に暮したが、やはり両親が選択してくれる又は意見してくれることは、全てが自分の好みに合うものばかりではなくて、いつも両親に依存して生活しているようで、時々そんな生活が面白くないと感じていた。

このように私は高校を卒業する以前は、両親から全然独立していなかった。その上、当時の私の性格はあまり強くなく、新しいことにチャレンジする気持ちが少なかった。つまり私にとって良い体験と悪い体験がとても少なく、人生から学ぶことも少なかったと思う。しかし、オーストラリアの大学で勉強している時に、ケーキとコーヒーに出会ったことで、人生の良い体験はケーキのように甘く、苦しい体験はコーヒーのように苦い、グッドコンビネーションであるということを見つけた。つまり人生は苦しい体験が無かったら面白く無く、良い体験の意味も苦しい経験の貴重な体験もあまり感じる事ができないと思う。これらのことが、人間を成長させると思う。そのために、その頃から色々な経験をしたいと思い始めて、新しいことにチャレンジする気持ちも大きくなった。そして、この初めての留学の中で、色々な人物や物事に接するチャンスが多かったため、様々な新しい事を体験することで、自分の考え方も段々変わってきた。そして、自分のことは自分で決めようと思い始めた。その時が私のターニングポイントとは言えると思う。私は自分で自分の趣味を見つけて、色々なことにチャレンジしていく過程で、性格も両親から独立ようになってきた。

そして今年、私はとうとう日本に留学することになった。私は子供の頃からJポップスが好きで、そのため段々と日本語に興味を持ち始めた。私は自分の趣味である日本語についてもっともっと追求したくて日本に来た。これは自分で決めたことだ。日本に来てからは、日本語の勉強がとても大変で毎日毎日遅くまで宿題をしなければいけなかったり、日本の文化や風習などが香港と違うことで色々な苦しい経験もあった。でも結果的には自分で一つずつ解決してきた。そして私は日本に来て、色々な場所へ出かけたり、色々な食べ物（納豆や河豚など）にチャレンジしたり、とても良い経験もたくさんしている。それは私がオーストラリアで体験した甘いケーキと苦いコーヒーとの出会いと同じようだ。今日本で留学することの中で、色々な良い体験と苦しい体験があるが、私は今の生活をとても楽しんでいる。もしケーキとコーヒーの関係を発見することが無かったら、多分、私はこの留学で色々な問題に悩むだけで、いつも楽しんで生活することができないだろう。

私は人生には良い体験と苦しい体験をすることも大事だと思う。このような起伏のある人生のほうが面白いと思う。人生には喜怒哀楽が必要で、一つでも足りなければ完璧とは言えないと思う。よって、私はこれからも自分自身で色々なことにチャレンジして、そし

てどんな問題や困難なことがあっても、それを克服していきたいと思う。また失敗した時も諦めないで、できるだけ失敗から良い経験を得ようと思っている。私は人生における「甘い瞬間」も「苦い瞬間」も楽しんで、素晴らしい人生にして行きたい。

多分ケーキとコーヒーに出会うことが無ければ、人生のグッドコンビネーションも知らなかつたろう。しかし人生のグッドコンビネーションを知ったことで、私の視野が広くなり、もっと楽しいものになったと思う。「ケーキ」と「コーヒー」は私を変えた。そのため、この2つは私にとって特別な意味を持っている。これから、このテーマで色々話し合いたいと思っている。例えば、ケーキとコーヒーを比喻として考えたことがあるか、人生には良い体験と苦い体験の両方が大切だと思うか、挫折についてどう思うか、どんな人生は素晴らしいと思うかなどである。そのため、この面白いテーマを選んだ。

2. ディスカッション

ディスカッションの相手は SABORUNA グループのステファニアさん、ゆりかもめ7グループのキンセイカさんと同じグループのイバさんだった。ステファニアさんは「家族の大切さ」というレポートを書き、キンさんは「生命は自分のものである」というレポートを書き、イバさんは「日本語と私」というレポートを書いている。イタリア人のステファニアさんは私のレポートに興味があり、共通の話題や、異なった意見もあったので、面白く話し合いをすることができた。中国からのキンさんと香港からのイバさんも私のテーマについて色々な意見を与えてくれ、結果的に、共感だけでなく、本当に新鮮な発想や異なった観点を得ることができて、レポートをもっと面白くさせることができた！

2.1 ケーキとコーヒーはグッドコンビネーションについて共感がありませんか？

そして、あなたにとって、類似のグッドコンビネーションがあると思いますか？

ステファニアさんと話し合い：

私：ステファニアさんはケーキが好きですか？ 好きならば、何故好きなのですか？

ステファニア：私はケーキだけではなく、ほとんど全部のデザート又は甘いものが大好きです。私にとって、デザートは元気の素のようです。朝ごはん甘いものを食べるのがイタリア人の習慣です。私は甘いものを食べることで、毎朝元気を感じられます。

私：そうですか。今、ステファニアさんは日本の方の家でホームステイをしているそうですが、今もその習慣が続いていますか？

ステファニア：はい、そうです。今、私はいつも自分自身で朝ごはん用の甘いものを用意しています。

私：ステファニアさんにとって、ケーキなど甘いものは大切みたいですね。何故ですか？

ステファニア：はい、大切だと思いますよ。私にとって、甘いものは元気の素で、生活の中でうれしいことだと思います。特に、悲しい時に甘いものを食べれば、すぐ気持ちが良くなることができます。つまり、気持ちがダウンしている時に甘いものを食べると、すぐ生活の中での楽しいことを考えることができます。楽しいことを思い浮かべて、「今悲しくても、そんなにつらくなくて、やはりこの世界でいいこともたくさんありますね!」とすることができます。でも、もちろんそれは非常に悲しいことに対しては、多分役に立たないことですが、一般的な悲しい時に気持ちをリセットすることに役に立つと思います。

私：なるほど。では、コーヒーはどう思いますか？ステファニアさんはイタリア人ですが、コーヒーが好きではないと聞いたことがありますね。本当ですか？何故ですか？

ステファニア：はい、そうです。私は昔何回もコーヒーを飲むことに挑戦しましたが、やはりコーヒーの苦さが苦手でした。ですから、私はずっとコーヒーが好きではないです。イタリア人の友達はみなコーヒーが好きで、いつもみんなと一緒に喫茶店でコーヒーを飲む時でも私だけはコーヒーを飲まずに他の飲み物にするので、少し寂しく感じることもありますね。

私：そうですか。では、ステファニアさんはケーキとコーヒーはグッドコンビネーションだと思わないですか？

ステファニア：はい、そうです。私はアイリーンさんの「ケーキとコーヒー」という比喻についての考えがあまりないですが、甘いものについては同じ考えがあります。甘いものは嬉しい時、悲しい時に関係があると思います。つまり、私にとって、甘いものは気持ちがダウンの時にリセットに役に立ち、嬉しい時にもっと嬉しくなれることです。私はコー

ヒーが好きではないので、ケーキとコーヒーはグッドコンビネーションだと思わないけれど、類似なことなら、多分ケーキと抹茶はグッドコンビネーションだと思います。そして、私もまた人生には良い体験と苦い体験両方も大切だと思っています。

ステファニアさんはイタリア人ですが、コーヒーが苦手というのは面白く、ちょっと意外だった。また、彼女にとって、ケーキだけではなく、甘いもの全部が元気の素で、気持ちをリセットでき、日常生活に欠かせず大切である。私は「ケーキとコーヒー」を比喻として考えているが、逆に彼女は「甘いもの」として同じような考えがあるのは面白いと思う。また彼女はコーヒーではなく、抹茶とケーキはグッドコンビネーションだと思っているようだ。そして、彼女は人生には良い体験と苦い体験両方も大切だと思い、この部分は私と共感してくれた。

2.2 挫折があれば、どうやって解決しますか？ 挫折についてどう思いますか？

ステファニアさんと話し合い：

私：みんなも挫折があったことがあると思いますが、ステファニアさんは挫折がある時にどうやって解決しますか？

ステファニア：はい、そうです。もちろん私も挫折がありました。でも、私にとって、あまり挫折を感じないと思う。アイリーンさんのように、私も子供の時から、両親からの愛情を受けて、いつも彼らから良い意見を聞き、指示に従って行動していた。両親はいつも私が彼らの思う完璧な生活を過ごして欲しいですから、彼らは私が挫折を感じる可能性のことをしないで欲しいと思っています。母は挫折することが危険で、大変怖いと思っているので、私に「挫折があるかもしれないことをやめて下さい、そのことをしないほうがいいです。」と言ってしまった。両親は時々私の気持ちがあまり分かってくれなかった。ですから、私はたまに寂しく、ちょっと文句もありました。よって、私は今大きな挫折を感じることはありません。

私：なるほど。よく分かりました。では、ステファニアさんは挫折についてどう思いますか？

ステファニア：挫折を経験することは人生の中で大切なことだと思います。挫折によって、色々なことを考えたり、学んだりできると思います。でも、私はいつも両親によって守ら

れてきたので、もし私が大きな挫折を感じた時のことが心配で、怖いんです。結果的に、今私は大きな挫折に立ち向かう勇気が少ないみたいです。

イバさんと話し合い：

私：イバさんは挫折についてどう思いますか？

イバ：今までももちろん挫折がありました。しかし幸いなことに、これまでの挫折は大きくなかったと思います。今まで、私の人生の中で一番大きいな挫折は大学の入学受験に落ちたことです。進学したい大学に入れなかった、あの時本当に悲しかったですね。それから、私は一年間浪人をして、頑張って勉強しました。その結果、一年後にやっと合格しました。今あの挫折を振り返ると、あの挫折の経験は大事で、貴重だと思います。もしあの挫折が無かったら、多分今私の性格も全然違うでしょう。あの挫折があったから、私は色々なことに真面目に取り組むようになりました。そして、大学に入ってから、性格も楽観的になりました。大学で色々なチャレンジをして色々な活動を参加して、とても積極的になりました。だから、私は挫折が良い勉強になったと思います。一度失敗しても諦めないで、もう一度試す勇気を持つのが大切だと思いますよ。

私：そうですね。イバさんと私は挫折についての考えは大体同じようですね。やはり人生の中で、挫折又は苦しい体験は大切ですね。それでは、今挫折があれば、それをどうやって解決しますか？

イバさん：私は今悩むことや挫折があれば、友達と両親に話すことで解決することがいいと思います。

やはり人生で色々な経験することは大切なようである。もし一度も体験したことが無ければ、それを初めて体験した時に多分大変怖いと思うでしょう。ステファニアさんも私と同じように両親から強く守られていたので、大きい挫折を感じたことが少なかったようである。私はケーキとコーヒーとの出会いから、人生のグッドコンビネーションを発見したが、ステファニアさんも挫折することを怖がらずにチャレンジしてもらいたい。一方、イバさんは今でも挫折がないほうがいいと思っているが、やはり彼女にとって前の挫折は良い勉強になったようだ。あの挫折によって、今では彼女の性格は積極的になって、失敗しても諦めない決心があるようだ。

2.3 あなたはどんな人生は素晴らしいと思いますか？

キンセイカさんと話し合い：

私： 私はケーキの甘さは人生の良い体験という比喻で、コーヒーの苦さは人生の苦しい体験という比喻です。ケーキとコーヒーはグッドコンビネーションで、人生には良い体験と苦しい体験両方も大切だと思います。だから、私は人生における「甘い瞬間」も「苦い瞬間」も楽しんで、素晴らしい人生にして行きたいです。キンさんはどう思いますか？

キン： 私は今までアイリーンさんの「ケーキとコーヒー」という比喻についての考えがないですが、私も人生には良い体験と苦い体験両方も大切だと思っています。もちろん苦しい体験がないほうがいいですが、それはあり得ないと思います。私にとって、人生は船のようで、風が無い時に海の中でちゃんと進むことができるし、波が大きい時は大きく揺れるでしょう。ですから、人生には時々起伏があることが回避できないですが、何回も失敗することで色々勉強することができると思います。失敗すること又は挫折は原動力になる場合が多いです。

私： そうですね。では、キンさんにとって、素晴らしい人生は何ですか？ 今は人生の目標がありませんか？

キン： 今私の一番大きい目標は早く日本の生活で溶け込んで、大学院に進学したいことです。それから、卒業をして、いい会社で働くことです。他の人は多分私の目標がとても平凡だとも思えるかもしれないが、自分は自分のやりたいことが実現できるように、やっていくことも自分にとって素晴らしいことだと思います。ですから、私は目標を実現して、充実した生活を過ごすことは素晴らしい人生だと思います。

イバさんと話し合い：

私： イバさんにとって、どんな人生が素晴らしいと思いますか？

イバ： 私にとって、毎日楽しい生活を過ごすことができるのは素晴らしい人生だと思います。自分の好きなことができ、悩みはあまり無く、人生に楽観的に、積極的に過ごすことは素晴らしいです。

キンさんは私の「ケーキとコーヒー」という比喻については考えたことがなかったが、彼女は人生が海を航行中の船のようで、穏やかな時があるし、起伏の時もあると思う。また、彼女も人生には良い体験と苦い体験両方も大切だと思っているようだ。ところで、やはり人によって、素晴らしい人生の定義は違う。キンさんにとって、目標を実現することと充実した暮らしは素晴らしい人生である。一方、イバさんも平凡な目標として、毎日自分の好きなことができ、人生を楽観的に過ごすことと言っている。私にとっては、色々なチャレンジをして、失敗した時も諦めないで、人生における「甘い瞬間」も「苦い瞬間」も楽しむことが素晴らしい人生である。

3. 結論

私はケーキとコーヒーというグッドコンビネーションに出会ったことで、ケーキの甘さは人生の良い体験のよう、コーヒーの苦さは人生の苦しい体験のようだ、と考えようになった。人生にとって、良い体験はケーキのように甘く、苦しい体験はコーヒーのように苦い、グッドコンビネーションである。なぜなら、人生に苦しい体験が無かったら、良い体験を面白いと感じることができないし、良い体験の意味も苦しい体験の貴重な経験もあまり感じることはできないと思う。このケーキとコーヒーの関係を発見して、同じように人生の良い体験と苦しい体験という人生のグッドコンビネーションについて考えるようになる以前、私はずっと苦しい体験がいやだった。しかし、その発見によって、私の人生観は変化して、私は今自分自身で色々なことにチャレンジして、そしてどんな問題や困難なことがあっても、それを克服していきたいと考えようになった。私は人生における「甘い瞬間」も「苦い瞬間」も楽しんで、素晴らしい人生にして行きたい。私にとって、ケーキとコーヒーは特別な意味を持っているが、他の人のケーキとコーヒーというコンビネーションについて対する意見が聞きたかったし、色々な面白い話題を話し合うことができると思っていたので、このテーマを選択した。クラスのみennaとディスカッションをしたことで、幾つかの結論を得た。

第一に、私はディスカッションをする前には、多分他の人は人生の良い体験だけ欲しく、絶対苦しい体験がいやだと思っていた。しかし、実はそうではなかった。ディスカッションをした全員が人生では苦しい体験が必要で、とても大切なことだと思っていたようだった。だから彼女らは私の意見に賛成してくれてとても嬉しかった。

第二に、みんな過去に深刻ではないけれど挫折を経験していて、これからは挫折を経験したくないけれど、人生にとって挫折があってそれを克服することが大切だと思っている

ようだった。そしてイバさんは昔に挫折したことで、今では積極的で楽観的な性格になったと思っているようだ。彼女は挫折から色々なことを勉強して、自分を変えたようだった。私は良い体験と苦しい体験のグッドコンビネーションを発見してから、挫折に直面しても平気になった。日本に留学して色々挫折があったが、結果として全部解決することができた。挫折しても、きっといいことがあると考えることができるようになった。

第三に、私はこのディスカッションで他の人にとっての素晴らしい人生の定義を知ることができた。ディスカッションを始める前は、私は他の人の素晴らしい人生の定義がとても複雑で分からないかもしれないと思っていた。やはり、みんなそれぞれに自分なりの定義を持っていて、誰一人として同じような人はいなかった。しかし、みんなそれぞれ自分自身の人生を素晴らしい人生にするために頑張っていて、私は嬉しかった。

またこのディスカッションをして、人によって、私の「ケーキとコーヒー」という比喻について全然考えていないようだったが、ステファニアさんは人生にとっての良い体験と苦しい体験のコンビネーションを「ケーキと抹茶」と考えていた。人によって、食べ物毎に色々なイメージがあるのは面白いと思った。

最後に、このディスカッションで私の発見した「ケーキとコーヒー」という人生のグッドコンビネーションの比喻について他の人に説明した。彼女らは最初、全然このような考えが無かったが、色々お話をしていくうちに最後は彼女らも私の意見に共感してくれたようだった。私は、この「ケーキとコーヒー」/「良い体験と苦しい体験」という比喻をとっても面白いと思う。

4. 終わりに

私はこのディスカッションを通じて、色々な人とお話をし、色々な人の経験を聞くことができた。これは自分の人生を振り返る良いきっかけになった。また、人によって人生についての色々な考え方があり、素晴らしい人生の定義も人により様々で、本当に楽しくお話できた。ディスカッションの相手をしてくれたステファニアさん、キンセイカさん、イバさん、本当にありがとうございました！

旅行について

チョウサンクン

動機

今の世界は経済の発展によって観光業も日増しに盛んになっている。逆に、観光業の発展によって世界経済も日増しに盛んになっている。この原因は、旅行へ行きたい人は多くなりました。人々は自分住んでいる地方だけ満足できなかった、外の世界が見に行きたくもりです。寒いところの人は暖かい、四季ははっきりのところへ行きたいし、山に住むの人は海を見たいし、農村にいる人は大都市へ旅行つもりで、逆も同理です。人々はいろいろな気持ちを持って、わくわく旅行へいく。私もこの中の一人です。

旅行と言えば人によって意味もいろいろあるでしょう？ある人は旅行がリラックスとあって、ある人は旅行が買い物とあって、ある人は旅行が景物とあって、ある人は旅行が人生の経験とあって、あるいは旅行がおいしいと言う人もいます。私にとって、旅行はいろいろな意味がありますが、主に旅行は勉強です。皆さんはどう思います？

勉強する時、そんな噂が聞き取れました。観光地の開発、発展、繁栄はきっと基本の3要素があります。これは「3S」、「SUN、SEA、SEX」である。例えば、アメリカのハワイ、日本の沖縄と中国の海南島。あそこへ旅行すれば、本当に気持ちいいですね。気温は暖かくて、そよ吹く微風で、海のそばで、ジュースを飲みながら、日光浴をする。食べ物は新鮮な海鮮料理。目の前は青空、ブルーシーとセクシーな服装を着ているの美男美人。お金があれば、誰でも行きたいですね。でも、本当の旅行者として、これだけで満足できますか？これも私の疑問です。私にとって、これだけで満足できません。町に歴史あるの雰囲気、伝統文化のわらわれるとおいしい食べ物も欠けられないものです。たぶん目的が違う人、旅行したい地方も違いますとおもいます。

私自分の経験は毎度旅行に通じて、いろいろなものを勉強しました。私いつも旅行するの場所は上海（私の故郷）の近く蘇州である。蘇州は庭園の町として有名ですが、そちの庭園は何百個あります。全部清や明の時代の建物、とてもきれいです。その間に、蘇州の庭園の知識も勉強しました。

例えば、中国江南地方の古典庭園の典型と言われるの「拙政園」、もともとは明の正徳初年、御史王献臣は官を辞し、失意のうちに古里に戻ると、ここに家

を構え、庭を造り、「拙政園」と名をつけました。その意味は、要するに、出世できなかったことを自らなくさめているわけです。このエピソードは面白いでしょう。

そのほかに、私はお茶を飲むことも大好き、毎日お茶を一杯飲むのがもう自分の習慣になりました。だから、「龍井茶」の原産地杭州も行ったことがある。そこにもいろいろな「お茶」についての知識を勉強しました。

中国の茶の種類を大きく分けると六つある。それは緑茶、紅茶、白茶、花茶、ウーロン茶と緊圧茶である。「龍井茶」は緑茶に属する。それから、お茶を入れる方法も少し勉強しました。同じ茶葉入れる方法によって味が違います。美味しいか不味いか、お茶の入れる方法はコツです。

旅行の途中で、いろいろな知識を勉強することは本当に楽しかった。普通の勉強は学校で先生が教えて、われらはノートを書いて、それかれ暗誦、練習。ちょっとつまらなくて身に付けにくいですね。その反対に、旅行の途中でいろいろな情報や知識などを本当に覚えやすいです。多分この知識は学校の専門とぜんぜん関係がない、でも、そんな楽しい勉強に通じて自分の勉強意識を呼び覚まさせました。自分は知識がある人になりたいと思い始まります。これはとても重要なものです。

旅行の途中でいろいろなものを体験して、いろいろな人に会って話して、いろいろな美味しいものを食べて、いろいろな景色を見て、主にいろいろな知識を勉強して、自分の人生は豊かになりました。自分の心も豊かになりました。だから私にとって旅行は勉強である。

ディスカッション （一回目）

ディスカッションの相手はぺこぺこグループのテーセツかさんです。テーセツかさんは私と同じ中国出身です。日本へ来る前に吉林省のある旅行社で仕事をやりました。だから、テーセツかさんは私のレポート「旅行について」に興味があります。テーセツかさんと一緒に面白いディスカッションをしました。

私：テーセツかさんは旅行が好きですか？テーセツかさんとして旅行はどんな特別な意味がありますか？仕事はガイドさんですが、きっと多いところに旅行しましたね。

テーセツか：私にとって旅行は仕事です。だからいつも重い責任を引き受けている、大変疲れました。自分は都市で生まれて育ちます。もし旅行へいくと、古い町へ行きたいんです。大都市というものはどこでも同じな感じですよ。高く

て大きいビルばかり、あんまり新鮮感がなくなりました。私は朝鮮族ですけど、ずっと漢族の人たちと同じな環境で生活する、今の私一番行きたいところは朝鮮族生活する町です。そちのいろいろな伝統風俗を体験したいし、建物も見たいし、きっと得難い思い出になります。

さて話は変わって、私は旅行社で仕事をやりますけど、本当に多いところに行ったことないです。いつも同じところで「旅行」する。

私：テーセツかさんは工作中いろいろな旅行者に出会って、彼らは主にどんな目的を持って旅行するの？

テーセツか：やっぱりほとんどの旅行者は旅行へ行くために旅行する、べつに特別な目的を持ってない。途中で私は観光地の知識を紹介するとき、半分以上の旅行者は興味なさそうな顔を持っている、10%ぐらい旅行者はさっぱり寝ている。間もなく紹介しました知識はすべて忘れちゃった。

私：変な旅行者ですね。時間も金も無駄遣い感です。テーセツかさんはどう思う？

テーセツか：うーん、そうですね。人々の考え方は違いますから、多分彼らにとってそんな旅行は楽しいです。

テーセツかさんの話を聞いてちょっとびっくりしました感じがあった。でもこれは現実です。今の旅行者は大部分旅行だけ旅行する。後で友達に言って「私はどこどこへ旅行しました」。不思議だ。

ディスカッション（二回目）

今回ディスカッションの相手はゆりかもめ7グループのリーシュさんと青空グループの塩谷さんです。

私：リーさんは旅行が好きですか？何か経験がある？リーさんとして旅行は何か特別な意味がありますか？

リー：はい、私は旅行が大好きです。大学時に威海へ行ったことある。海が大好きで、でも自分の故郷貴州は周りに全部山ですが、海が見えない。だから大学時代に自分一人で威海へ旅行しました。

あのう、張さんにとって旅行は勉強である。私にとって、ちょっと違って、旅行はリラックスだけです。私の大学で、日本語科の学生は全校有名な勉強家です。毎日朝一番早く家を出て、夜一番遅く寮に帰る。みんな一生懸命勉強する。

あの時の私、圧力を軽くするために、威海へ旅行しました。

リー：張さんにとって旅行は勉強だったら、それで旅行する時に何か圧力がありますか？勉強するために旅行しますから。

私：そうですね。でも、私は旅行がてら勉強します。主に旅行です。何も勉強しなかったても、大丈夫。旅行が好きから、旅行します。勉強するために旅行すると言うと、やっぱり旅行するために勉強すると言うほうが正しいです。

私：リーさんは旅行するとき旅行団に入りたいですか？もし旅行団に入ると、ホテルとか観光地のチケットとか全部安くなります。あるいは、自分一人でゆっくり旅行します？

リー：私は一人で旅行するの方が好きです。あらかじめ行くつもりところのいろいろな資料を調べて、そこへ行ってから、自分でゆっくり観光する。もしどこがあんまり面白くないと、すぐ出る。もしどこで興味がある、長い時間経っても、大丈夫です。旅行団に入るとぜんぜんだめですね。観光地の時間は決まります、それで買い物ばかりです。

私：塩谷さんは旅行についてどう思いますか？

塩谷：私昔は旅行社で勤める経験があります。仕事で旅行に行ったらぜんぜん楽しくない。学生の時はあちこちへ旅行する経験もあります。自分の家を離れて、旅行の途中で自分一人でゆっくり考える時間はあるから、楽しいと思います。自分自身とか学業とか生活とか、いろいろなことを考えられる。それで、私も一人であるいは友たちと一緒に旅行するの方が好きです。自由の時間であちこちへ行く、いろいろなものを見て、いろいろな人々と話して、いろいろな問題を考えて、それは私にとって楽しい旅行です。

今回のディスカッションはなんとなく自分の意識が変わるようになりました。単純的に旅行は勉強であると言わない。そう言うとみんな「張さんは勉強するために旅行します、大変疲れたよ」と思います。正しく言うと私は旅行がてら勉強します。旅行する前に何か特別な目標は持っていない、きつとなになにを勉強しなければならないも言わない。私にとってもし旅行の途中で、何か興味があるものを勉強しましたと、得になるの感じだ。それで、そんな遊びような勉強は楽しい勉強である。

ディスカッション（三回目）

私：あと最後の疑問が聞きたいんですが、もし塩谷さんにとって旅行は自分でいろいろな問題を考える時間があると、どうして日常生活でそのいろいろな問

題を考えられません、きっと旅行する時に考えるの？

塩谷さん：前回に言及しましたのように、私昔は旅行社の営業部で勤めました。その仕事はとても忙しい、毎日朝早くから夜遅くまで、家も会社の近くに、だから日常の生活はずっとその緊張な雰囲気にはまれました。きっと旅行する時にストレスを解消できて、ゆっくりの雰囲気でいろいろな問題を考える。

今の問題に似ている問題はほかの人も私に疑問しました「どうして張さんはきっと旅行する時に勉強します、日常生活で勉強できませんか」。私の答えは今ありました、日常生活の勉強は勉強しなければならなくて、圧力が重い勉強。旅行途中での勉強はやさしくて楽な勉強、しなくてもいいです。ぜんぜん圧力がありません。

結論

旅行について3人とディスカッションしました。人によって意味は違います。テーセツかさんにとって旅行は仕事で、忙しくて楽がない。リーさんにとって旅行は単純なリラックス、日常生活のストレスを解消するために旅行する。塩谷さんにとって旅行の意味は二回変わりました、学生ときは自分の世界を広げたいために、見たことない世界を見に行く、旅行社で勤める時はストレスを解消して、ゆっくり考える時間をもらえるために、旅行する。アメリカに留学してから、今の塩谷さんは旅行と比べると一つところに長期滞在のほうが魅力があると思います。

いろいろな意見をもらって、考えて、旅行について、私にとって、いったいなんですか？今の私は各国の伝統文化や歴史があるの建物や特別な食材などいろいろな魅力があるものに興味を持って、知りたい、見たい、感じたいです。多分塩谷さんの最初期と同じぐらい状態だと思います。世界はそんなに広い、未知の世界を探索したい気持ちで旅行する。私にとって、旅行は勉強である。世界を詳しくに認識するための勉強である。この勉強はぜんぜん圧力がなくて楽しい勉強である。

終わりに

皆さん、お疲れ様でした

この四ヶ月の間に、青空グループの皆さんと一緒に自分のレポートをもっと

よくなる方向へ努力しました。皆さんのおかげで、いろいろな意見をもらって、私はこのレポートを何回も書き直して、もっと完全的な方向へ行きました。

私として、とても楽しい四ヶ月である。

皆さん、ありがとうございます。

中学校と高校時代の付き合うことについて

青空グループ
ダンヤクホウ

>> 動機 <<

日本に来た後、町をよくぶらつきに行く。その時、制服を着ていて、中学生みたいな男の子と女の子が手を引きながら、歩いていくをよく見える。中学生がそんなにおおっぴらに付き合ったことにちょっとびっくりさせてしまった。そして、最近「学校へ行こう！」というテレビ番組を見た。それは、その番組の人が、シネカメラを持って、学校で生徒たちの愛の告白を撮るというテレビ番組である。例えば、ある学校で女の〇〇子は、好きな男の〇〇君に、大勢の人の前に、大声で「〇〇君のことを好きです！付き合ってください！」と言って、その男の〇〇君は、もし、その〇〇子も好きなら、「よろしく願います。」と言った。そして、みんなは、その二人の付き合うことを祝って、手をたたく。その番組の人は、そういうようなことを撮って、観衆に見せる。とても驚かせてしまった。

また、付き合うことについて、何人の友達に聞いたが、答えは国によってちがった。日本人の友達は中学校と高校時代の付き合うことを、先生と両親に許されると言っていて、韓国の友達も賛成した人もいるし、反対した人もいる、大体半分ずつだと言った。しかし、中国では、中学校と高校時代の付き合うことを学校の先生や両親も許されないであり、理由は付き合うことが勉強によくないと思われるからだ。

中学校と高校時代の付き合うことを到底禁止されるべきかどうか、それに好奇心を持っているから、ちょっと話したい。

中学校と高校時代の付き合うことは、どの国でもあり、どんなに禁止しても、付き合う人もいると思う。実は、十何歳の時に、異性に好感を持つことが正常であるから、よくないとは言えないけど、もし、そんな好感をよくつかまなかったら、大変な結果もあるかもしれない。

高校生に時、一人の親友のAさんがいた。とても可愛い女の子だった。私たちは、毎日勉強したり、遊んだり、心の中の秘密も話し合ったりして、とても仲が良かった。その時、Aさんは、同級生のBさんが好きで、毎日Bさんに見ただけで、一日中楽しかった。高校三年生の時、AさんがBさんに告白して、二人は付き合い始まった。始めは、好きな人と付き合うことができたから、Aさんは、毎日毎日、

楽しくて、幸せな感じをいつも言ってくれた。しかし、三ヶ月後、Aさんはだんだん楽しくなくなった。Bさんは、学校でとても活躍して、性格が明るいし、格好いいし、頭もいいから、Bさんのことが好きな女の子が、たくさんいた。Bさんは、学校の活動がいっぱいあるから、Aさんと会う時間が少なくなった。Aさんは、いつも二人の感情を心配して、Bさんのことだけを考え、勉強する気持ちは全然なかった。私とは話す時にも「Bさんは私のことがほんとに好き」などといつも聞いた。それから、その二人は取るに足りないことでよく喧嘩して、最後は分かれてしまった。Aさんは、もとは成績が良かったが、付き合ったことで時間と精力をたくさんかかったので、一流大学に入れなかった。

高校を卒業した後、友達の誕生日パーティーで、Aさんに会い、いろいろな話をして、高校の時のことを言った時、Aさんはとても後悔して、「もし、その時よく勉強したら、きっと理想的な大学に入れるでしょう、そして、Bさんとお互いに、そんなに深く害することもないよ」と言ってくれた。

高校生の時、自分は好きな人もいった。しかし、告白しなくて、付き合わなかった。告白の勇気がないとは言えないが、友達の経験を参考して、付き合うことに、大切な時間をかけたくない、好きな人に害したくないから、その人が好きな気持ちを、ずっと心の中に埋めて、勉強に全力を尽くし、やっと理想な大学に入った。そして、その時の好きな人と仲良い友達になって、今もよく連絡している。そう見れば、付き合わなかったことも、幸いだと思う。

言うまでもない、中学校と高校の時、一番大切なことは勉強である。勉強によく頑張らなかったら、良い大学に入れなくて、出身大学が重視されるので、良い大学には入れなかったら、就職の時も、困ることがたくさんある。その時から、付き合ったら、勉強する時間と精力は少なくなり、大人になっていないの中学生或は高校生にとって、感情をよくつかむのも実に難しい、そして、中学校と高校の時の付き合いは最後の結果には、分かれるのは多いし、普通の友達さえもなれないのも多い。だから、学校から禁止された方がいいではないか、自分の将来のために、中学校と高校時代の付き合うことを禁止されるべきだと思う。

ディスカッション 1

ニチャヤさんとのディスカッション

私：ニチャヤさんは、中学校と高校時代の付き合うことについて、どう思いますか。

ニチャヤ：段さんの意見に賛成します。中学校と高校時代に、一番大切なことが勉強だと思えます。その時、付き合ったら、大変時間がかかりますので、勉強の時間は少なくなってしまう、そして、その時の付き合いは、最後に分かれることが多くて、二人とも傷ついてしまうこともよくあります。今は、私たちは、もう大人になって、中学校と高校時代の付き合いのよくないところを知っていますが、大人になっていない時に、そういう考えに思い及ばれませんから、協力として、学校から禁止された方がいいと思えます。

私：中学校と高校時代の付き合った経験がありますか。

ニチャヤ：中学校と高校時代の付き合った経験はありません。その時、力を勉強に尽くして、付き合う精力と時間はありません。

私：ニチャヤさんの文章のテーマは生き甲斐についてですね、それは中学校と高校時代の付き合いと言うことは、何か関係がありますか。

ニチャヤ：ちょっと関係があると思えます。私の生き甲斐が母の幸せです。私にとって、母はすべてなので、今までの生きているのは母のためで、母の幸せにずっと頑張っています。だから、中学校と高校時代は、一生懸命に勉強したかったので、付き合いませんでした。

ニチャヤさんとディカッションして、自分の意見に賛成してくれて、とても楽しかった。

ピョンさんとのディカッション

私：この文章を読むと自分の意見がありますか。

ピョン：段さんの意見に賛成しません。中学校と高校時代の時代に、一番大切なことが勉強だと分かってても、好きな人がいれば、その人と付き合いたい気持ちが、学校から禁止されても、変わらないでしょう。

私：もし、付き合いのせいで、成績が悪くなったら、どう思いますか。学校から禁止されたほうがいいではないですか。

ピヨン：それでも個人の問題で、自分は付き合いを選択すると、自分で責任を負うはずだと思います。成績が悪くなっても、自分の選択です。学校は禁止するわけではないと思います。そして、中学校と高校学校の時代は、学生の抵抗心が一番強い時で、学校の禁止したものの悪さが分かって、受け入れたくなくて、逆に、そのことをするかもしれません。

私：そうですね。中学校と高校学校の時代は、確かに、抵抗心が強い時ですね。しかし、学校は学生をわがままに放任すべきですか。もし、アドバイスとしたら、受け入れられますか。

ピヨン：アドバイスだったら、たぶん受け入れられますが、それは、やはり、個人問題で、学校は干渉しないほうがいいと思います。

ピヨンさんとディカッションして、反対の意見をもらった。反対されても、自分と違うの意見を聞いて、相手の意見を分かったけど、やはり、自分の考えがいいと思う。

ディスカッション 2

塙さんとのディカッション

私：中学校と高校学校の時の付き合いについて、日本の場合はどうですか。

塙：日本の場合は、自由になっちゃって、学校はあんまり禁止しません。

私：学校の先生は付き合うことについて、アドバイスしませんか。

塙：あんまりしないと思います。ただ、極端な場合で、例えば、変なこととか、子供ができちゃったことなら、別に、普通の付き合いにアドバイスしません。

私：もし学生が付き合いのせいで、成績が悪くなら、塙さんは先生にしたら、どうしますか、禁止しますか。

塙：禁止しません。付き合うかどうか、個人的な問題で、先生はそれを禁止するわけではないと思います。そして、成績が悪くなった原因は、いろいろありますね。例えば、スポーツばかりをすとか、勉強の気持ちが失ったとか、それは、付き合いと同じで、個人の問題だと思います。

私：そうですね、たぶん国によって違いますね。中国の場合は、高校入学試験と大学入学試験がとても厳しいので、中学校三年生と高校学校三年生の時に、学生は勉強以外のことをしてはあまり許されません。先生も親も、毎日学生を勉強させます。

私：もし、アドバイスとしたら、どう思いますか。

埴：十何歳の学生は、抵抗心が強いですが、もし、アドバイスとしたら、少し受け入れられるかもしれません。

埴さんとディスカッションして、とても役に立ったと思う。中学校と高校学校の時の付き合いについて、埴さんが日本人として、日本人の考えを紹介してくれて、とても、重要な意見だった。自分の考えが少し変えた方がいいかなと思うが、また来週続いて詳しくディスカッションしたいと思う。

ディスカッション 3

埴さんと徐さんとのディスカッション

私：私の考えで、中学生と高校生の時は、一番大切なことは勉強ですが、埴さんの考えでは、その時、一番大切なことは何ですか。

埴：学生ですから、もちろん勉強が一番大切なことです。しかし、勉強以外にも、例えば、いい友達を持って、いろいろな話を聞いてとか、スポーツをするとか、いい音楽を聞くとか、それも大事だと思います。勉強したばかりはよくないし、ほかのことばかりして、勉強は全然しないこともよくないですね。バランスをよくして、いろいろないいことをした方がいいと思います。

私：日本人の親は、自分の十何歳の子供の付き合うことについて、どう思いますか。禁止しますか。

埴：すぐ「止めなさい」と言わないと思います。多分家によって違うと思います。

私：埴さんは親としたら、禁止しますか

埴：禁止しません。

私：中国の場合は、中国の親は、ほとんど、「勉強によくないから、やめなさい」と言います。

徐：親の禁止は、理由は勉強によくないではないと思います。それは、自分の子を守りたいから、自分の子に傷つけさせたくないから、禁止するのです。だから、勉強によくないとか、いい大学に入れないとか、それは、禁止する理由ではないと思います。

私：そうですか。はじめて分かりました。以前は、全然親の立場から思わなかったですが、ただ、勉強によくないから、禁止されるのだと思いました。今日は、徐さんの話を通して、親は、何のことを禁止するかどうか、最後の目的は、自分の子供を守るのです。以前は、思い及ばれませんでした。

徐：だから、よく勉強して、いい大学に入れさせたいなんか、全部は、自分の子供に素晴らしい人生を持たせたいからです。

埴：そうですね。その気持ちは、どの国の親でも同じですよ。

今まで三回ディスカッションして、皆さんから、たくさん意見を聞いて、とても役立ったと思った。ところで、この前、徐さんから、「段さんは、親になったら、自分の子供の付き合うことについて、どうしますか。」と聞かれた。以前は、このことを全然思わなかったが、今は、少し考えみたが、私の考えで、勉強はやはり一番重要なことだから、もし、子供は成績が悪くならないし、そして、付き合うことで幸せだと感じられたら、私は、禁止しない。逆に、もし、子供は付き合いのせいで、成績が悪くなら、又は、付き合いが辛いと思ったら、私は禁止する。しかし、無理やりに禁止するではないが、きっと、子供と相談して、子供の意見に尊重する上に、一番いい方法を見つけたいと思う。

>> 結論 <<

レポートを最初に書く時、中学校と高校時代の時の付き合いを禁止されるべきだと思ったが、この前の三回のディスカッションを通して、考えは少し変わった。以前は、自分の考えでは、学生時代には、勉強が一番重要なことだから、勉強以外のこと、特に、勉強に悪い影

響を与えることをしない方がいいと思った。しかし、そうすれば、勉強はたぶんうまくできるかもしれないが、生活はバラエティーがなくなってしまった。勉強だけでなく、いい音楽を聞いたり、いい本を読んだりして、心を豊かになれる。付き合うことでも人生の経験になれる。そして、中学校と高校学校の時代は、学生の抵抗心が一番強い時で、学校の禁止したものの悪さが分かって、受け入れたくなくなってしまった。だから、絶対の禁止した方が、最も適当な方法ではないが、アドバイスとして、付き合うことで困る学生を助けた方がいいと思う。

>> 終わり <<

今は二〇〇四の1月です、時間が経つのは本当に速いものですね。総合の授業はあと三回しかありませんけど、最初にグループの皆さんと会ったことが全く昨日の日のようです。初めてこの授業を受けて、5枚の論文を書くと言った時、本当に困っていて、どうしても書けないと思いました。しかし、勉強しているうちに、リーダーの里奈さんはとても優しく毎度毎度も大切なコメントをしてくれて、どういうふうに行けばもっとよくなると教えてくれました。そして、うちのグループの皆さんからいろいろなコメントをもらって、ほかのグループの人とディスカッションして、レポートはやっとできて、7枚も書きました。皆さんに、本当にありがとうございます。また、グループの皆さんと一緒に勉強したり、ご飯を食べたり、とても楽しかったです。それは、はじめて、一人で外国へ留学しに来た私にとって、とても大切な体験だと思って、いつまでも忘れないことです。

自然と私

エウ

あなたの好きなものというのは何。この質問に私は思わずに「自然」だと答える。自然がほとんど壊されていない、ありのまま保存されていると言われてい、草原の国モンゴルで生まれ育ったからなのか、私は自然が大好きなのだ。

発展途上国だと名付けられているからなのか、遊牧民族だからなのか、私は幼い頃から自然に振れ、自然の中に生きている動物や虫と遊んで来た。だから、子供の時の思い出を大切にし、自然は私の生活の一部になっているようだ。

私は、この世に生まれ、周りにある建物や自動車、お店などのように、自然は存在しなければならぬ当たり前のものの一つだと思っていた。しかし、どんな影響与え、どんなに役立つ必要なものなのか、ほとんど分かっていなかった。そんなバカな私を変えてくれ、自然の大切さを気付かせてくれたものがある。

みんな、だれもいない大自然に行ったことある？人間も、動物も、虫も一匹も見えない、この世に私しかいないような不思議な自然に行ったことがある。車でも、馬でも、歩いても行けないそんな所にヘリコプターで行ったことある。そんな所に行って何が感じたと思いますか。自分が一番自由に感じた。私たちの存在している地球は私だけのために存在しているような不思議な気持ち。。しかしその他も自然の大切さを気付かせてくれたのは。。

世界でもっとも発展先進国になる、日本の首都「東京」。この大都会で暮らし初めてからもう二年だ。交通から人間の日常生活まで何でも発展し、便利になったこのビジネス・シティーでは、大勢の人々は忙しい毎日を送っている。お金さえあれば、生活を楽しくすることが出来る、ある意味「幸せな街」だ。最初の頃は、田舎の者が初めて都会に出て来たように、何でも面白すぎてとても楽しかった。しかし、思ったより長く続けなかった。いくら何でもあっても、何か物足りない気分になり、よくイライラするようになった。それは、自分の国だと少なくとも週に一回は自然体験をしていた私にとって、東京での生活は檻の中のような感じだったからだろう。

私は、このような日常生活でのことから、自然は人間にどんなに必要なものなのかよく分かった。食べる物をくれるだけではなく、健康な体もつくってくれ

るのだねと思うようになった。

東京で暮らし初めてから、体が少し弱くなったような気がする。だけど、私は後悔していない。自然も、私たちが吸っている空気のような大切なもので、私の体の一部だと気付かせてくれたのは東京である。だから、逆にありがたい気持ちなのだ。

最後に言うと、人間と自然が離れすぎたこの街、この街の人々も自然の大切さに気付いて欲しい。自然を愛し、仲良くなって欲しい。

ディスカッション # 1

今日の私のディスカッション相手は台湾のチンさんでした。よろしく。

私：チンさんは台湾のどこに住んでいるんですか。

チン：私は台湾の首都台北に生まれ、今まで住んでいる。

私：首都と言うとあまり緑がないでしょ。

チン：それはそうだけど、家のすぐ近くにきれいな公園があって、よくあちらに緑を見に行ってた。私は自然が大好きですから。エクさんは自然をそんなに好きですか。

私：そうだよ。私自然が大好きで、特に大自然がある所にいると自分がこの世で一番自由に感じて、その大自然の静かさを聞くとこの世で私しかいないような不思議な気持ちになるんだ。

チン：スゴイ、そんな所に行って見たいな。私まだ大自然に行ったことはあまりないけれど、エクさんの感じた不思議な気持ちを絶対感じると思います。この地球は私だけのために存在しているようだという文は特にかっこうよかった。

私：本当にそう思っているんですか。私の不思議な気持ちを分かる人一人もいて嬉しい。もしチンさん大自然の中に住むことになったらどう。

チン：ん、今までそういう経験が全然なかったから、多分出来ないと思う。でも自然が嫌いという意味ではないよ。今まで都市に住み続けているからもう都市の生活に慣れましたね。エクさんは。

私：僕もちろん出来るよ。まあ、ずっとそういう所にいると、ちょっと寂しいかな。たまに都市に行ったり来たりすれば住むよ。もちろん子供の頃から都市に住んでるからか、都市の便利さに慣れたこともあるけどさ。じゃいったいチンさんにとっては自然というのはなんなの。

チン：大体、エクさんと同じ意見なんだけど、私にとって自然は絶対存在しなければならぬもので、私たちの存在している起源だと思っている。今台湾の田舎も自然も発展し始め、自然は段段なくなる危険が起こっている。ちょっと心配です。

それで時間になって私たちのディスカッションが終わりました。ここにはそんなにうまくは書いていないと思いますが、話していた間にチンさんは自然が大好きだねと思った。なぜならば、大自然について話中に本当にそういう所に行って自分の目で見たいという気持ちをチンさんの目で分かったんです。この地球の自然を愛してる人々は段段多くなり、自然の大切さ、きれいさを分かる人々は多くなると信じています。信じているからグリーンピース組織は世界で一番強い組織だろう。

ディスカッション # 2

今度の私のディスカッション相手は上海のニッチさんと、日本の埴さんでした。

私：まず、ニッチさんの実家から始めよと思います。

ニッチ：私の生まれた所は上海の真中「中心人」なんですけど、段段発展し始めた所です。しかし今の家の周りは山や川や庭などがあって自然に囲まれています。私の親は自然が大好きだから、私にも影響されて好きになりました。

私：じゃ、そうしたらニッチさんにとっては自然というのはなんですか。

ニッチ：私は小学校から高校の時まで市内にいたからあまり自然との関係を考えてこともなかったが、大学の時から自分の実家から通い初め、自然と近くについてやっぱり存在しなければならぬもので、いい一日を過ごす力をくれる宝物で、別な世界のように感じます。だから出来れば自然と近くいたいですね。

私：じゃ、ニッチさんは日本に来て二ヶ月経って、いい一日の力をくれる自然も近くになくてどうですか。

ニッチ：まあ、日本に来て狭いなと思ったんですが、あまり気にしなかった。ちょうどうるさいと思いましたよ。車のエンジンの音とか、バイクの音とか。やっぱり夏の実家の周りの音を思い出しますね。川の音、鳥の泣き声、蝉の声も。

塙さん：エクさんとニッチさんにとっては田舎と都会の生活のどちらがいいと思いますか。

私：私は田舎のほうがいいと思います。今の時代って車があればどんな遠い所に仕事があっても行けると思います。

ニッチ：私も、もしコンピューターを使う便利な仕事があればずっと田舎に住みたいな。エクさんは自然が大好きですが、自然のために何かやった事がありますか。

私：まだ何もやったことがありません。なぜならば前に言った通りにモンゴルの自然というのはまだ壊されていないから、何がするか分かりません。考えているのは今の子供たちに自然を愛する気持ちを作ることですね。そういう気持ちを作る人々は子供たちの親だと思えます。子供を連れて動物園やアクアリウムなどに行ったり、子供にその動物や魚の生活について説明したり、教えたりする親を見るとスゴイと思えます。それは子供たちの自然や動物などを愛する気持ちのきっかけになると思えます。

ニッチ：エクは自然と関係ある仕事やりたいと思えますか。

私：子供の時に動物が大好きで、大人になったら生物学者なると思ってた。高校の時に生物学はいつも「A」でした。

私：例えばニッチさんと塙さんは私の行ったその不思議な気持ちにする所に行けばどういうふうに気持ちになると思えますか。

ニッチ：そういう所に行けばまず、一番大きい声で笑ったり、話したりする。本当に不思議ですね。

埴さん：そういう所にまだ行ってない、経験していないからすぐは分かりませんね。でも自分がなんなんだろう、どこに何がしているか分からなくなる不思議な気持ちになるでしょう。特に別な世界のようなですね。自然に行って自分が分かったという人はよくいる。私も若い時に北海道行ったりしていました。

私：じゃ、自然に行かないで、大きな部屋にいながら自分が分かったという人は、自然にいながら自分が分かったという人とどう違いますか。

ニッチ：ずいぶん違います。周りの環境というのは一番大事ですよ。部屋の中に考えたら狭く考えて、自然にいながら考えると、広くてさわやかに考えると思います。

結論：ディスカッションを二回やったが、ディスカッションの相手三人の方々にも自然というのは良い一日を過ごす力をくれるもので、リラックスする場所である。しかし私のように不思議な気持ちにならないようだ。それは人によって様々であろう。雨や風や雲や霧や雪などの自然から作られているものは私たちの日常生活にいつも影響している。その多すぎたら悪い影響するが、初雪、初雨などが私たちに大事な思い出、喜び、うれしさを持ってくるでしょう。みなさん、朝起きて、学校に来る道で歩いている人、走っている車も、動いているものが何もないと想像して下さい。東京に一人もいないと想像するとどう？不思議でしょ。この間冬休みに長野に行って来ました。色々な所からスキーしに来たり、温泉入りに来たり、皆それぞれ自分たちにリラックスし、楽しむために来て、それぞれの自由を感じていたと思う。人間はそれぞれの方法で自由を感じる。私の方法は一人でいることだ。私が大自然にいと一番自由を感じる気持ちになるんだ。自然の人物の一人としては自然を愛し、不思議な気持ちになると自分が一番自由に感じる。なぜならば私は元々自然から作られ、発展した動物である。

終わりに：私にとってこのテーマで動機書いたり、ディスカッションしたり、結論出したりするのは一番難しかったと思う。自分の何考えているのをあんまりみんなに開きたくなかったが、結局開いた。チンさん、ニッチさん、埴さんのおかげさまで、これを書き終わりました。青空グループのみなさん、ベッキさん、しおわさん、グループのリーダー田中リナさんに心から感謝を申し上げます。本当に色々ありがとうございました。短い間だったが、お世話になりました。

日本語と私

総合 5 レポート

名前：イバ ルイ ポー ヤン
グループ：青空

目次

- 1) 動機
- 2) ディスカッション
- 3) 結論
- 4) 終わりに

< 動機 >

今世界中に何億という人が日本語を勉強している。人々日本語を勉強する理由や日本語への見方もあると思うだが、ここで、私にとっての日本語に関して述べたい。

日本のファッションとか、商品とか、電子製品等でも香港では、とても人気がある。そして、私は小さい頃から、日本の文化と言葉や、商品や、歌や、アイドル等の影響で、日本に関する物に全て興味になった。日本の歌が大好きなので、日本語をまだ勉強してなかった時にも、いいメロディの曲を歌えるために、何回も何回も聞いて、自分しか分からないノートを取って、歌詞を暗記した。

1993年、私は日本語と出会った。家族とカナダに移住するせいで、そこで勉強した中学校で、第二言語として、日本語の勉強を始めた。その時、カナダに暮らしていたのに、カナダの第二公式の言葉、フランス語を選ばずに、なぜか日本語を選んだ。その頃から、日本語は私の命と分けられないことになった。

最初、日本語に興味になったのは、やはり日本の流行文化や商品の影響だった。けれども、勉強をし始めてから、だんだん日本語を好きになった。今は、もう「。。。のために、。。。のために」日本語を勉強するではないのだ。ただ、日本語が好きだから、勉強したい、一生でも勉強したい。このせいで、私は中学校の時に日本語の勉強を始めたからずっと続けを主張していた。それから、大学で日本研究を専攻した、それで、日本に留学に来た。

今考えてみると、当時日本語を勉強する決定はとても正しくて、よかったのだ。なぜかという、日本語の勉強を始めてから、私はやっと自分なりの人生目標を見つけた。それは“日本語の道”だ。性格がとても思い惑うだった私は、何かを判断する時は、いつも迷ってて、行くべきかどうかを感っていました。とても弱い物で、自信があまりなかった。高校の頃に、クラスの友達はほとんど自分将来に何をしたいか大学にどの分野を勉強したいかはっきり分かっている、たった私が全然アイデアがなくて、大変迷っていた。

今の私はもちろんまだまだ足りないところがいっぱいあると思うが、以前の私と比べると、著しい進歩があると思う。

日本語は本当に私を助かった。勉強はそんな得意ではなかった私にとって、大学に入ることも身に遠かった。日本語のおかげで、あまりなかったの自信ができて、「日本語をマスターしたい」だけの気で香港大学の日本研究学科を目指して頑張っていた、ついに今年に卒業しました。日本語のおかげで、今、自分将来の進路をはっきり分かってきた。日本語教育学科の修士課程を目指して、頑張りたいと思っています。カナダにいた当時はもし日本語を選ばなかったら、「私は今何をやってるんだろうか」といつも考えている。もしかしたら、まだ大学で自分があまり好きではなくて、ただ皆が「役に立つ」だと思うのビジネス経営を頑張ってるんだろう。

それから、今頃の私は一番幸せだと思うだ。なぜかというと、日本で生活しながら勉強することはずっと私の夢でした。今、日本で、この異国で一人暮らしをして、ときどき寂しいと感じていますが、やっと私の夢、「自分の好きなことに専念すること」、を実現できて、本当に人生の最高だと思うだ。

つまり、日本語は私の人生を変えた。日本語は、既に私の生活の一部になった。私にとって、日本語は人生の光である。日本語と出会わなかったら、今の私がない。日本語がないと、私は前方の道路を分からなくなる、生活も必ず無味になる。それゆえに、日本語は、私の人生に重大な影響をもつ。

< ディスカッション >

私のレポートについて、他のグループの三人とディスカッションしました。相手は隣グループのサポーターの塙さんとペコペコグループのメロデイさんと私のグループのアイリーンさんです。では、これから三人とのディスカッションの対話を順番に書きます。

塙さんとのディスカッション

塙さんは以前中国で日本語の先生をしたことがありましたが、今年の九月から早稲田大学の日本語教育修士課程に研修しにきました。今私の目標はこの修士課程に入ることなので、塙さんの経験や意見をいろいろ聞かれて、とてもうれしかったです。

私：塙さんはこの文章を読んで、感想がありますか。

塙さん：じゃ、日本語と友達になったよね、ずっと将来の友達、一生の友達になったよね、そして、それを生かして、例えば、仕事を出来るということを出るといいなあと思ってますか。日本語を生かして仕事をしたいですか。

私：そうです！！日本語はもう私の仲間になったみたいです。日本語があると、生活はもっと楽しめるみたいです。そうですね、将来は、日本語を使って仕事をして、できれば、日本語を教えたいです。この仲間とずっと一緒に暮らしたいです。

塙さん：香港に日本語を勉強している人がたくさんいますか。

私：たくさんいますよ。多分私もその影響で、日本語を好きになったのです。けれども、ただ、日本語のひらがなとカタカナを読めて、普通の会話を出来るぐらいだけにしたくない。日本語をマスターしたいです。塙さんはどうして日本語教育科を勉強したいですか。もう日本語の先生になったし。

塙さん：私は大学からだったから、六十近くになったまで、ずっとサラリマンだった、ただ、中国にある師範学校で2年間ぐらい教えたことがある。日本語教育のコースを勉強するのは、実際は色々な人と交流したり、先生の実習をしたいです。日本語の教育というのは、ただ日本語の教師をやたより、いろんな人と話して、その経験や意見から勉強するわけです。それから、自分の教え方とか、もっと上手になりたいから、いい先生になりたいからです。自分がいいと思うだけじゃなくて、先生の面も学生の面分かるになって、他の人を認めるわけですね。

私：そうですか、そういうと、そのコースを勉強する前に、経験があったほうがいいと思いますか。

塙さん：まあ、ぜったいではないけど、あるといいですよ、こういうで自分がこう困ったとか、例えば、中国人を教える時にはこの発音はどうしてもできないとかを分かるから、もっと理解が出来るよ。また、日本語の教師をやって、それから、また勉強して、それでもいいじゃない。私がその中国の師範学校で教えた経験もすごく役に立つですよ、中国の人達が作文によく間違えた部分とか。

私：そういうと、理論だけではなく、実際に教えることもだいじですね。

塙さん：そうですよ。

私：塙さんにとっては、日本語はどういうことですか。まあ、塙さんの母語ですけど。。どうして日本語を教えることを仕事にしたいですか。

塙さん：まあ、そうですね、母語ですが、私はもう62さいですから、子どもも大きくなったから、生活のためにやるじゃないですから、ただ自分すきのことをやりたいですから、お金はいらない。

私：そうですか、そうですね、自分が好きのことができるのは一番いいことですね。私も、今自分が好きのこと、日本へ留学すること、をできて、満足してるわ。

メロデイさんとのディスカッション

メロデイさんは「バイリンガル教育」というテーマのレポートを書いています。彼女は大学で日本語の学習をし初めてから、前一番好きだった英語の勉強より、日本語の勉強の方が好きになったそうです。一体彼女にとって、日本語の魅力は何でしょうか、私が日本語を好きの理由と同じかなという疑問があった。それから、彼女は私と同じように言葉が大好きなので、お互いが日本語を学ぶ経験や見方もバイリンガル教育のこともいろいろお話し合いました。

私：メロデイさんは「バイリンガル教育」というテーマを書いてて、かなりバイリンガルということが必要だと思うそうですね。

メロデイさん：そうですね、私は小さい頃からお父さんの仕事の影響で英語を習って、それで、大学の時から日本語の勉強をし始めた。この頃の社会には、いくつかの言葉を話せることが必要だと思いますね。

私：そうですね。でも、どうして日本語を選びましたか？

メロデイさん：台湾には日本語を学ぶのもブームになったよ。私は異文化を理解することを興味があって、日本語だけではなく、その文化についてももっと知りたい。そして、日本語を出来れば、将来に役に立つと思うから。

私：そうですか。メロデイさんはこのコースを勉強した後は、なにをするつもりですか。

メロデイさん：その後は、日本語を使って、別の分野を専門して、勉強したいです。なんか、日本語だけじゃなくて、一つ専門のことを集中したいです。それで、将来日本語を使って、仕事をしたいです。

アイリーンさんとのディスカッション

アイリーンさんは「ケーキ、コーヒーと私」という人生の良いと苦しみに関するテーマのレポートを書いているが、お互い色々共通のところが発見できた。彼女が日本語と出会うことと勉強しつづける理由は私のとかなり似ている。それで、日本語ということは私と彼女の人生にも非常に重要な一部でしている、共感が得られて、とても嬉しいです。ディスカッションにお互い色々自分の経験や味方を話して、とてもよかったと思います。

私：この文章を読むと、どう思いますか。共感がありますか。

アイリーン：私とすごく似ていると思います！

私：そうですか、アイリーンさんはどうして日本語を習いますか。それで、どうして、わざわざ日本に留学しますか。

アイリーン：実は、私が九歳から J-Pops を聞いて、そのきっかけで日本語に興味がありました。そして、子どもの時は、両親がすごく厳しかったから、日本語を勉強できなかった。両親が大学の専攻はとても大切なことだと見られてたから、役に立つと思われるビジネス系を選ばせた。けれども、専攻はマーケティングだったが、一年生から自選として日本語を習い始めた。

私：そうですか。。。そうね、私の両親も私の若頃に厳しかったの。高校を卒業してすぐ日本に留学することは禁止させたのだ。「やはり先に普通の大学課程を通して下さい！」って言われて。。。。

アイリーン：そう！そう！同じです。

私：日本語はアイリーンさんにとってはどういうことですか。

アイリーン：日本語はね、イバさんみたい、私の人生を変えたの。日本語を習わなかったら、人生はそんな面白くならない。それで、私は、今の目標は日本語についての仕事をするからです、できれば、趣味のことを仕事にして、もっと楽しくなると思うわ。

< 結論 >

ディスカッションの相手は皆日本語か日本語教育の学生だから、日本語に関しての勉強をするのは自分で選んだから、やっぱり自分なりの理由があります。けれども、その理由はどうやって違っても、共通していることが発見した。それは日本語に対して興味だ。メロデイさんでもアイリーンでも日本語を学ぶことが好き、日本語や日本の文化に興味を持つから、日本語を勉強し続ける。日本人の埴さんでも、「日本語教育」は自分好きのことだから、将来外国人の人達に日本語を教えて、仕事としても自分が興味があることだから。

このレポートで、他の人にとって、日本語はどのようなことかが知ることができた。人によって、日本語ということは、どんなに似ても、やっぱり違うことがあるのを発見した。人によって、日本語に対して、やっぱり自分なりのストーリーがあって、人生の中に違う意味が持つだと気が付いた。

例えば、私と同じ香港出身のアイリーンさんは私の経歴や日本語と出会ったきっかけとかなり似ているが、やっぱりちょっとした違いがある。彼女は J-Pops のせいで、日本語を勉強して、そして好きになった。その反対に、私は、日本国のせいで、日本語を勉強したくて、好きになって、それで、J-Pops や他の流行文化に興味になったのである。人によって、日本語に対して、やっぱり人々なりのストーリーがあります。

三つのディスカッションを通じて、他の人の経験を色々聞いた、それから、色々感じられました。最初、「日本語と私」というテーマはとても自己的なテ

ーマで、ディスカッションをするのが難しいかも知らないと心配したが、結局、思ったよりずいぶん話が出来て、うれしかったです。相手三人の経験や意見をいろいろ聞くことが出来て、自分の将来のことをもっと深く、詳しく考えをさせた。そして、皆は自分の将来のために、とても頑張っているから、私もしっかり頑張らないとだめだなと気が付いた。

それから、このレポートに通じて、日本語の先生という仕事をもっと知ることが出来た、前よりもっと興味があった。塙さんのような積極的な態度にでることは今私の模範である。

ディスカッションをした後に、塙さん、メロデイさんとアイリーンにとっての日本語どういうことかを知ることができた。皆の目標も日本語と関係あるがやはり人々なりの目標がある。それはいいではないか。皆自分の目標に頑張っていて、人生を充実して、それは素晴らしい人生を得ることでしょう。

私にとっては、日本語はやはり重要な登場人物みたい、私の人生に出てきて、私を助かったである。日本語と出会って、本当によかったと思うだ。日本語のおかげで、自信があった。日本語のおかげで、私なりの目標を建った。これからも、この仲間 日本語と一緒に将来の夢を叶うように、頑張りたいと思います。

< 終わりに >

このレポートを書く過程で、色々な人とディスカッションしたり、経験や意見をお互いお話たり、たくさんの勉強が出来て、本当にうれしいです。それから、今回のディスカッションを通じて、自分が今までの人生を見極めることが出来た。それを通じて、将来の行き道をもっとはっきりしてきました。それでは、総合クラスの皆さん、お疲れ様でした。

お酒

李 庚殷(イ ギョンウン)

1. 動機
2. ディスカッション
3. 結論
4. 終わりに

動機

みんな！お酒について真剣に考えたことがある？たぶんないだろう。お酒を毎日飲んでいる人もいるし、たまに飲んでいる人もいるでしょう。そして、お酒が飲めない人と嫌いな人もいるでしょう。嫌いな人は自分なりに理由があると思うけど、お酒を飲んでいる人は自分がどうしてお酒を飲んでいるか、なぜ好きになったか、あまり考えていないと思う。

私はお酒を飲むことが大好きだ。

だから、お酒は人にどのような影響を与えているのか、どうして好きになったか、述べたい。

まず、私と違って好きではない人の立場で考えてみた。

一番大きな理由はやはり毎日お酒を飲んだり、よく飲み過ぎたりすると健康によくない。

二番目はお酒に酔って暴れる人と、回りの人にけんかを売ったり、セクハラしたり、迷惑をかける人が多いからだ。

三番目はあまりお酒を飲む必要をかんじない人だ。

これだけではなく、色いろんな理由があると思うけど、後で話しましょう。

私はただ一人でお酒を飲むことも好きだし、友達とか先輩、後輩などと、お酒を飲む時の雰囲気も好きだ。

お酒は人と人があって一緒に飲みながら話すうちに人に対して性格はどうか、どんな考えを持っているか、全般的なことを知るようになったり、仲良くしてくれたりするものだ。

私がお酒を初めに飲んだ時から、もう10年が過ぎた。初めにはお酒の味もわからなかったし、先輩に飲ませられたか、誰にも負けたくなかったか、わからないけど、今考えてみると、とても情けなかった気がする。しかし、その時、お酒がなかったら今の親友たちはいなかった。

私は悲しいときとか、怒ったときにお酒を飲む。

お酒だったら、何でも好きだけど、一番好きなのは焼酎で、たぶん早く酔っ払ってしまって、その悲しさと怒った気持ちを全部忘れるからだ。

そして、うれしいときもお酒を一番思い出す。そのときは友達と一緒ににぎやかな雰囲気
で、すごすのがもっとうれしくなる。

お酒もいい友達と思う。

友達といえば、わたしの悩みを聞いてくれたり、なんかいい方法を提言してくれるなど…

しかし、友達が誰もいないときは一人だからお酒を友達のように考えて一人で飲む。

もちろん話もできないし、小さいピンしか見えない。けれども、焼酎が私の隣にあるだけで、
慰安になる。

しかし、こんなに好きなお酒が私に痛みをくれる場合もある。

それは二日酔いだ。お酒を飲むときは楽しみに飲むけど、その次の日には何も食べられ
ないようになる。ひどい日は一日中ベットの上で、ごろごろする場合もある。ですが、夜に
なったら元気になるから大丈夫。心配はいらない。

同じお酒を飲んでもある日は甘い、ある日は苦いと感じることが多い。なぜか私もよくわ
からない。

たぶん、気分とか、体の状態に関係があると思う。人も生きていくうちに嬉しい時もあるし、
辛い時もあるからお酒の味が人生と同じではないか。

お酒は憂いの玉ぼうき(お酒は心配と儀係をなくす薬になるという意味)とお酒は百薬の
長のことばがあるように心の薬なる。それで、お酒は人生にとってなければならぬ大切
なものです。

* ディスカッション *

私は色々な人々がお酒についてどう考えているか、私とどうやって違うかをディスカッシ
ョンした。

・お酒が飲める。飲めない

私：Aさんは酒を飲みますか？

A：もちろんです。私はギョンウンさんのように友達と薬ぐらいではないけどたまに飲んで

いるし、その時の雰囲気も好きですよ。

私: 雰囲気が好きなのは同じですね。そしたらどうして酒を飲みますか？

A: うん・・・私初めて人と出会った時、あまりしゃべれないし、ちょっと緊張してその雰囲気に適応できないほうです。しかし、お酒を飲む時には初めて

出会った人ともよくしゃべれるし、緊張もしないですから、初めて出会った人とはまず酒を飲みます。そして、お酒を飲んだらその人のたくまざる率

直な姿を見られると思います。それで、酒を飲むことが好きになりました。

私: Bさんは酒を飲みますか？

B: すこしだけは飲むけど飲むことはあまり好きではないです。

私: なぜですか？

B: なぜかという、お酒を飲んだら一回ぐらいは過ちをするかもしれないからです。道とかトイレなどで吐いたり、泣いたり、寝てしまったりする人を見

て私もそのようになるのがイヤで怖いんだから・・・

Aさんは私と同じに酒が好きな人でだいたいの人々がそうであるように酒を飲む雰囲気が好きだった。Aさんの話を聞いて初めて人と会った時に緊張をしたり、あまりしゃべれない人は一緒に酒を飲むこともいい方法ではないかと思った。

Bさんは私が考えたとおりに酒を飲んだ後自分がどうなるかを心配して酒を怖がっている。でも、自分がどのぐらい飲めるかを知っているはずだから自分でコントロールしなければならない。大人になったら社会生活の中で飲みたくなくても飲まなければならない時があるんだろう。その時のためでも自分がどのぐらい飲めるかを分かっておいた方がいいと思う。

・お酒を飲み始めた時、きっかけ

私: 私は高校時代に飲み始めたんですけどいつ飲み始めたんですか？

A: だいたい修学旅行の時一度飲んでみないですか？私もその時好奇心で飲みました。

私: 早いなあ・・・

私も50%以上の人がある時酒の味を経験したと思います。酒はどうだったんですか？

A: 苦いだけでたくさんは飲みたくなかったんです。

私: Bさんは…

B: Aさんが話したように修学旅行の時にたくさん飲みましたが私は大学に入った時に飲んでみましたが、ただ苦い味だけで何もなかったと思います。

人は元、やっばいはいけないことならもっとやりたくなるだろう。やっばい大勢の人が飲んではいけない高校時代に飲んでみたようだった。そしてそれはただの好奇心だったのを分かった。

・お酒を飲んだらこんな時いい。

私: お酒を飲んだらどんなところがいいですか？

A: まず、すこし飲んだらリラックスして気分がよくなるんじゃないですか！そして先言ったように初めて出会った人の前で緊張がなくなったりとか…

B: 私は我慢できないくらい辛い時、そして眠れない時、少しだけ飲んで寝てしまうのがいいです。でも、そんなに辛い時は飲み過ぎないように注意しなければなりません。

お酒があまり好きではないBさんもお酒にいいところがあると話してびっくりしましたがどれもよかった。お酒は自分がコントロールできるくらい飲んだら問題ないというのをもう一度出た。

・寂しい時と怒った時

私: 寂しい時と怒った時どうしますか？私はやっぱり酒を飲みますけど…

A: 私は遠いところに一人で旅行しますが時間がない時には友達とお酒を飲んで歌を歌ったり、踊ったりしてから寝ちゃいます。

B: 音楽を聞いたり、その気持ちを紙に書いたりします。そしたらストレスとかも解消できます。

人によって違うけど酒が好きな人は酒を飲む人が多い。しかし、あまり酒が好きではな

い人でも自分なりにいろいろな方法があるようだ

・飲み会の雰囲気

私:お酒が好きな人の中でその雰囲気が好きで飲んでる人が多いらしいですが、どのような雰囲気が好きですか？

A:一緒にお酒を飲んだら上司と部下、先輩と後輩も一人になれるし、社会生活の飾り気とか上下関係を問わずに一つになれると思います。

私:なるほど・・・Bさんはどうですか？

B:私のようにあまり飲まない人には簡単にはいいけど長くなったらお酒を飲んでいる人を見ながら待ってるのが大変だ。

私もBさんのようにお酒を飲み過ぎない人とか飲めない人を考えるけれども話に夢中になったら忘れたことが多かった気がする。Bさんの話を聞いてその人たちの辛さについてもう一度考えるようになった。

結論

ディスカッションではあまり深くは話さなかったけれどもお酒について話してみてよかった。

同じ酒を飲んでも、味も、どうして？どんな時？に飲むかなど人によって違うのをわかった。そして、好きではない人もいたが、今の時代は大勢の人が飲んでいるから酒はなければならない物になった。それは、サラリーマンたちは仕事が終わったらビール一杯飲んでストレスを解消するし、ほかの人にも辛さ、寂しさ、苦しみ、嬉しさなどがある時酒を飲むからだ。

私は酒を友達とか薬だと感じるのは変わらなかったが、これを書きながら一番重要だと思ったのは私そして、ほかの人がどう感じているのか？思っているのか？ではなく、その上、酒を飲むとき自分自身をコントロールするのがもっとも重要だと思った。もし、自分自身がコントロールできなくて酒に呑まれたら知らないうちにどんなことをやってしまうか分からないからだ。

終わりに

お酒といえどもあだおろそかにしてはいけない。私たちより酒はつよいんだよ・・・

皆さん！お疲れ様でした。

よいお年を・・・明けましておめでとうございます

名前：ラム・ジョー

グループ：青空

テーマ：僕の考える「愛している」と「好き」の違い

僕が今の彼女と出会う前、僕は「愛している」と「好き」のちがいはっきりわからなかった。ただ単純に一緒にいて楽しいとか、外見とか、そういうところで人を「好き」になり、買い物をしたり、スポーツをしたり、たまにはけんかしてともに時間を過ごしてきた。

「愛している」と聞かれれば深く考えずに「愛している」と答えていた。その方が自然だと思ったからだ。ところが、今の彼女と出会ってから、今までの彼女への思いとは違うことに気が付いた。

彼女は私より年上で、私と違う国で生活してきた日本人です。私は初めてその人と将来、ずっと一緒に過ごしていきたいと思った。今まで自分のことを考えたけど、彼女のためとか、人のためにがんばろうと思ったことはなかった。

愛は目で見ることではできなくて、本当は心と体の全部で感じることだ。彼女は家族を大事して愛している人だ。お母さんと親友のように仲良くし、家族を守ろうと思っている。もちろん私も大事にしてくれる。まだ卒業していない大学生の私は、将来のこと全く知らないのに、彼女は私を待ってくれる。これは本当に感動した。彼女のおかげで、私はもっとまじめな人になった。自分の人生のことをちゃんと考えて、プランをたってきた。将来仕事のこととか、人生の道どうやって歩きたいかわかってきた。自分の人生の生きがい分かってきた。

それは「愛」。ずっとそばに自分のことを愛している人がいるから、将来へもつとがんばろうと思ってきた。愛は希望とモチベーションになる。

愛はとても意味が深く、人によって違う。100%正しい答えはない。そしてなかなか心から「愛している」と言える人に出会えることも難しい。だからたくさんの人が「愛」を求めて、探している。「好き」の意味は「愛」の意味と似ている。両方もあるもの・人のことを好むことだ。「好き」は責任とコミットメントがいない。「君のことが好きです」は「君のことを愛している」より言いやすい。「好き」は一瞬間の感じの場合が多い。「愛」はずっと続いていることだと思う。

私は今とても幸せだと思う。愛は大切なことだ。よく、僕が愛のことを話すと、みんなは僕を疑う。僕は若いからだ。僕が自分の家族に彼女と結婚するといっても信じてもらえない。本当はみんなに認めてもらいたいけど、僕は自信があるので気にしていない。愛を見つけるのに正しい年齢がない。

由里子さんー早稲田大学社会科学2年生

このテーマについてのディスカッションポイントは結構広いから、私と由里子さんはポイントを次々に話すことではなかった。その代わりに、「愛」と「好き」についてを適当に話した。

まず、由里子さんは日本人として、普通の日本人の場合から「愛」と「好き」についてを説明してくれた。これは本当に必要だと思う。なぜかというと、言葉の意味は、このテーマなら大切なことである。

日本人は「愛している」と「好きです」という言葉は、あまり言わない。なぜかというと、「愛している」という言葉は「安っぽい」と「仰々しい」の意味である。自分と付き合っている人にもこんな言葉を出ちゃうだめだ。「愛している」と言っても、相手が「本当にそういう意味か？」と聞かれる。また、「好きです」という言葉はだいたいある物を好む場合で使われている。人に「好きです」と言うときは、ほとんど同姓の友達だけである。異性の友達には、絶対言わず。ただ、冗談でもいいけど。しかし、異性の友達は外国人だったら「好きです」と言うのは非常に平気になる。そう思っている由里子さんは、「好きです」という言葉を言うことができるけど、今まで言ったことがない、前の彼氏にも。

恋愛経験があまりない由里子さんは自分が「愛」の意味についてよくわからないということを認めた。でも愛について自分の考え方もある。由里子さんは「愛は続く」と思わない。彼女にとって、愛は最初恋に落ちる時だけ「愛」と言え

る。それから、「愛」はだんだんフェードアウトしてなくなっていく。そして、ずっと愛を続けることが「とても難しい」だと思っている。「好き」という言葉はだいたいあるものが好きことである。

「一目惚れということがあるか」と聞いてみれば、由里子さんは「あると思う」と答えた。これは相手のことが「好き」の状態である。愛しているではなくて、好きの表現である。「一目惚れは両方の可能性がある。結果によって、好きの方が多いでも愛への可能性もある。」

由里子さんが私と一番違うところは「愛は希望とモチベーション」ということである。彼女はこの文に対して、高姿勢に反対した。「ええ！どうして愛は希望とモチベーションになるの?!?これは全くわからない。愛はそういう意味じゃないでしょう！だって、愛はあるひとのことを愛して、その人を守ろうとして、何でもその人のためにするでしょう。もし、愛は希望とモチベーションになったら、それは別に相手のためではなくて、結局自分のためではないか？」

最後に、由里子さんから一番印象を残っている一言は：「人間は愛してもらわないなら生きていけない」というすてきな言葉である。

結論

この2時間くらいのディスカッションからいろいろな違う意見を聞いてうれし
いだと思う。もっとこのテーマについてのことをわかってきた。

私と同じように由里子さんも「愛はとても意味が深く、人によって違う。100%
正しい答えはない。」ということ賛成する。その通りにディスカッションがい
ろいろなポイントを話して進んできた。

「愛は続く」と思わない由里子さんは私の意見と全然違う。難しいけど、愛は
続けると思う。それは愛の意味の一つではないか。愛は責任とコミットメント
が必要だと思うから、絶対続いている！そうじゃなかったら、「愛」ではなくて、
ただ「好き」の意味じゃない。私がそう思っているけど、「愛はどうやって続く
か？」と「自分は続けるか？」と聞かれると、できるかどうか100%の答えが言
えない。もう一度考えてみると、愛を続けることは確かに難しい。それに、自分
がこの経験はあまり積もっていない。これから、どうなるか？自分が決めた
意見と考え方は一度揺れていた痕跡を気が付いてきた。

由里子さんは異性に「好き」と言ったことがない。逆に、考えてみれば、私は
何十回「好き」と言ったことがある。これは、ただ言葉と育たれた環境の原因
であるか私たちの「好き」の意味が違うか？

「愛は希望とモチベーションになる。」由里子さんが高姿勢に反対したけど、こ
れは私にとって、間違いのないことである。多分、自分のための希望とモチベ
ーションになるということは、かなりわがまま感じる。でも、私の考え方は、ほ

かの人を愛するの条件は、まず自分のことを愛している事が知っていることである。愛は両方の方向に流れる。相手のことを愛していると共に、自分のことをもっと気がついて愛していると思う。だから、希望とモチベーションになることは自分のためでも、本当はもっと相手のことを愛しているようになると思う。

さっきに書いた通り、愛は 100%正しい答えはない。何十回ディスカッションしても、自分の 100%の答えが見つけれない。人間の考え方がいつも変わっていると思う。このレポートを始めてから、自分の意見や考え方も変わっていた。ディスカッションのプロセス途中にも変わっていた。今回のディスカッションの相手は一人だけど、本当は日常生活の毎日に正式なディスカッションを行わずに、友達と「愛」と「好き」について話してきた。

このレポートを書きながら自分の考え方をもっとわかってきて本当にうれしいと思う。

力になってくれるもの (匂い)

イ サンミ

1. 動機
2. ディスカッション
3. 結論
4. 終わりに

動機

私はいい香りとかいろんなものの匂いを嗅ぐことが好きで、いい香りがする香水、ローション、石鹸などが大好きです。

さびしい時とか、悲しい時、怒ったときにはいい香りを嗅ぎます。そしたら、さびしさ、悲しさ、怒ったときのことを全部忘れて、そのいい香りを嗅ぎながらいろんないいことについて考えられます。

たとえば、大好きな友たちが使った香水の匂いを嗅いだら、その人が頭の中に描かれて、楽しかったときを考えられるし、今は別れたけど、昔付き合った恋人の匂いを嗅いだら、昔、幸せだった時を考えられます。

私は頭があまりよくないから、人の名前とか、先、行ったことがある場所の名前とかをよく覚えられないです。でも、私はそのときの匂いを覚えて記憶をたどります。

同じシャンプーを使っている人でも、ひとによってじぶんの匂いが違うから、その髪の毛の匂いも少しずつ違います。

そして、いろんな家に訪問する時も、まず、そのうちの匂いから嗅ぎます。それはたぶんほかのもたぶんそうだと思います。自分の家ではなく、ほかの家に行ったとき、自分の家に匂いとはっきり違うのをすぐ分かりそうです。

私には人の特別な匂いと色々な場所の匂いを記憶することが楽しみです。

皆さんはワインを飲む時、まず、何をしますか。たぶん、大体の人が飲む前にまず、香りから嗅ぎそうです。

私はほかのお酒も香りが必要だと思っています。お酒を飲む時ももし匂いがなかったら今飲んでるお酒の味とはぜんぜん違いそうです。

風邪をひいて、匂いを嗅げなくなった時がありますか。

私はその時、普通はおいしく食べた食べ物はまずくなり、何度も何度もシャワーを浴びても私のシャンプーとか石鹸の匂いを嗅ぐことができなかって、毎日よくなかったです。それはただ、一週間だったけど、もし、匂いがずっとなくなったら。。。おいしい食べ物を食べる時、そのおいしさをあまり感じられないし、美しい花をもらったときも鼻ではなく、目だけで、その花を感じられます。そのときはたぶん色がなくなったときのようにつまらなくなってしまう。

香水、ローション、シャンプー、石鹸など、ただのいい匂いだけが好きだったら、テーマを”香り”にしたほうがいいではないかと思っている人がいるかもしれないです。私はもちろんいろんな香りを嗅ぐことも好きですが、そのいい香りだけではなく、田舎に行ったら、嗅がれる匂い、いろんな自然の匂いも好きです。香りだけいえば人が作った感じがするもので、匂いと言えば、人が作ったものもできるし、自然からできたものもできるから、テーマを匂いに決めました。

ドライブするとき、急に窓を開けたら窓から草の匂いがするときがあります。そのとき私は田舎を考えるようになります。牛は草を食べていたり、川端にはいろんな魚が遊んでいたり、たくさんの虫が泣いていたりしている場面が心に描かれます。ただの匂いだけで、こんなにいろんなものを考えられるのが面白いでしょう。

私がいろんな都合が悪くて、匂いを嗅ぎながらほかの考えに夢中になって、その悪さを忘れられるのは私は匂いを嗅ぐことが好きだからです。自分が好きなことをやって、それに夢中になるのはやっぱり感情と関係があるのではないかと思いました。人はたぶん一人一つずつは好きなものことがあります。その中にはもちろん私はこれが好きだという感情が入っているようです。私にはそれが匂いです。私が好きな匂いを嗅ぎながらいろんな悪さを全部忘れて、よかった時とか、楽しい気持ちしかなくなります。私にとって、匂いは私を楽しみにしてくれるすごく力になってくれるものです。

ディスカッション

私はほかの人は匂いについてどのくらい考えているのか、そして、私とどんな考えが違うかなどについてディスカッションしようと思ってペコペコグループのアンダリナさんと青空グループの李さんと一緒にディスカッションしました。

*** 匂いと言えばなにが一番考えられるか。**

私: まず誰かが匂いについてあなたに話せば何が一番思いだせるの。

ア: わたしは、臭い匂いかな。普通の匂いとかいい匂いはあまり気にしないけど、やっぱり臭い匂いなどはすぐ感じてしまって「あ！くさい」とかを
言っちゃうかもしれない。

…自分にいやな匂いをすぐ感じられるアンダリナさんを見て、匂いが人の感情と関係があるのではないかと思いました。

*** 普通さびしい時とか悲しい時、起こった時にはどうするか。**

私: 私は普通さびしい時とか悲しい時、起こった時には好きな匂いを嗅ぐ。そしたら今の悪い気分を全部忘れてしまう。アンダリナさんはその時どうす
アンダリナさんはその時どうする。

ア: うん、、映画を見たり、友達に会って、いろんな話をしたりする。

私: ええ？それは映画が終わったらまた、その寂しさ、悲しさなどが頭に残って思いだせるんじゃない？

ア: ううん、私は映画を見たらそのえいがに夢中になってほかのことを全部忘れて、映画について考えるのだけでも忙しいよ。

…人はやっぱり自分が好きなことをやったらストレスが解消できる。そして私は匂いを嗅ぐことが好きで、その匂いをじぶんのストレス解消に使っているようです。

*** 匂いがない物。**

私: 石鹸、シャンプーなどに匂いがないかったらどう。それがもっといいと思う。

ア: 別に関係はないけど、、でも、もしいい匂いがあったらもっといいかも、、
…匂いにあんまり関心がない人は普通使っているものにあってもなくても、あまり気にしなかったです。でも、もし、世界のすべてのものの匂いがなく
なったらその人たちも匂いの大切さを分かりそうです。

*** 今覚えてる匂い**

私: 昔の何かを考えられる匂いとかを今覚えてるのかな、、

ア: 私はここ日本に来るとき、母が使っていた香水を持ってきた。家の母の匂いがすごく頭の中に残って持って来た。

この香水を悲しいときとか母に会いたいときそれを嗅ぐ。ええ？？たぶんこれを見るとあたし自分も知らないうちに匂いを感じているかもしれない、

、、
私: 今びっくりした！私アンダリナさんは匂いについてあんまり気にしていない人だと思ったけど、、

ほら、、自分も知らないうちに匂いを感じているんじゃない、、たぶんほかの人も匂い

を感じるのを感じているけど、自分が匂いを感じているのを
知らないだけだと思う。

…私は今までのアンダリナさんの話を聞きながら匂いについてあまり気にしていないと
思ってたけど、母の香水の匂いを嗅いでいるアンダリナさんの
話を聞いて、びっくりしました。

私は人は自分が好きな匂いはみんなあるけど、自分がそれを感じられるか感じられな
いのかによって、違うと思います。

* 自然の匂いと人間が作った匂い

私: 自然の匂いが好き、それとも人間が作った匂いが好き。

ア: 両方も必ず必要だと思う。でも、ストレス解消ためには自然の匂いがもっといいと思
う。

山と川の匂いを嗅いだら気持ちがよくなるし、ストレスも全部解消できるから、
…今は自然と一緒にいる機会があまり少ないから仕方がなくて、香水とかいろんな匂い
を作っているけど、昔だったらいろんな花とかがあって、その
匂いを嗅げる。そして、ほとんどの人が作った匂いより、自然の匂いがもっと好きらし
いです。

* イヤな匂い

私: 特にいやな匂いがある。

ア: 私は運動が終わった後の男の匂いが一番いやだ。汗のにおいと、男の特有の匂いが合
わせて、

私、その匂いが絶対イヤだ。

私: もしその人がアンダリナさんが好きな人だったら、

ア: たぶん絶対イヤではないけど、もしかして、我慢できるかもしれない、

…人が匂いを嗅ぐことにあって、人の感情が一番大切だと思われま。もし自分が好き
なもの、事、場所、人だったら普通よりもっといい匂いを感じ
る機会がたくさんあると思います。

* 夢中になっているものこと

私: 今、自分が夢中になっているものことがある。

イ: 今だけではなく、私はいつもお酒に夢中になっている。

私: そうか。私は私が夢中になっている匂いを嗅ぎながら楽しくなるし、私が大変な時、そ
れを勝ち抜くようにいつも隣で、力になってくれるんだけど、
李さんにはお酒がそうなの。

イ: これはみんな自分が好きなことをやったら、同じかもしれないけど、匂いと酒は似てる
感じがする。

私も酒が私を楽しみにしてくれるし、力になってくれるものだと思う。

…私が匂いを嗅ぐことがそこに夢中になって匂いで楽しくなるし、匂いから力をもらうことにしていますが李さんも自分が大好きなお酒から楽しさと力をもらっていました。

人によって、好きなものことが違いますが自分が好きなものことから力をもらうのはみんな同じだと思います。

結論

今回のディスカッションによって、いろんな新しいことを習うようになりました。

一つ目は人間が匂いを嗅ぐことにあって、自分の感情を入れていました。自分が好きなものことでは普通より最もいい匂いを嗅ぐ可能性がおおかったです。

二つ目は人は自分が好きなものことがあって、それにとって、楽しさと力をもらうことはみんな同じだった。

さびしい時、怒った時には自分が好きなことをやって、そこに夢中になって、その寂しさと怒った時の気持ちを全部忘れて、楽しい気持ちだけを考えられます。

三つ目は大体の人が自分が匂いを感じているのに、自分自身はそれを分からなかったです。自分も知らないうちに匂いを感じていました。

私は細かい匂いまで、関心があって、物ことを見るとき最初に匂いから嗅ぐし、悪くなった気持ちも匂いをとって、自分の気分を変わっているし、物ことを匂いで記憶するから、やっぱり私にとってはなければならぬ大切なものです。

しかし、ほかの人は匂いについて、あんまり感じていないようです。

匂いと言えば、空気と水のようななければならぬものだけど、毎日毎日、私たちの回りにいるし、当に普通のものだから、その大切さを別に感じているとかはなかったと思われる。

わたしは匂いを嗅ぐことが好きで、よく匂いを嗅ぎます。それで、文字を覚えるのより私が好きな匂いを覚えて、物ことを記憶します。苦手な文字の暗記より好きな匂いを覚えるのがやさしいからです。

人と物と場所によって、違う匂いがあるのは私には本当によかったです。

もし匂いがなかったら、私はいろんなもの覚えるにあって、本当に困ってしまいそうです。

これだけを見ても匂いは私にすごく力になってくれるんでしょう。

しかし、これだけではなく、匂いはいつも私の隣で、私の気持ちがコントロールできるようにしてくれます。

さびしい時には旅行の時とか、友達と楽しかったときを考えられようしてくれるし、怒った時には好きな匂いを嗅ぎながら、幸せだった時を思い出させてくれます。

私にとって、匂いは私を楽しみにしてくれるすごく力になってくれるものです。

終わりに

皆さん本当にお疲れ様でした。

私は今度二回目にこの総合の授業をとっているんですが、自分なりに経験があって、もっといいレポートができそうだったけど、二回目の授業だったから、緊張もなかったし、頭も、心も楽になって、今の考えではもっと頑張ったらよかったのと思います。

皆さんは空気と、水、色、匂いのようないつも回りにあるからその存在を忘れてしまうんですが、このレポートを読んで、それにもっと興味を持ってその存在をもう一回考えてください。